

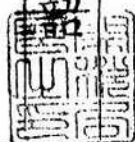
費		合		地租改正費補助金		合	
需用品	印刷費	郵便料	郵便電料	運搬費	修繕費	定式書替需用紙券用紙代價	罹災券狀用紙代價
五四一八三三	一三九三二五	二二七六二〇	一四一七一八	六二一六五	三一〇	一六、〇一四、九八四	八八、五五六、八〇〇
							三、〇八八、九九七
							一、五七〇、九八二、〇〇
							一、三〇〇、〇〇〇、〇〇
							一、〇〇〇、〇〇〇、〇〇
							六、八七、〇八、一一〇

右本會計年間地租改正ニ付經費ノ總計ハ貳拾八萬七千九拾八圓餘ニシテ前二年度間ノ經費總額ヨリ増加スルコト拾壹萬六千三百八拾九圓餘ナリ是レ各府縣改正費證明印稅ノ不足及ヒ券狀用紙貯蓄所焼失ノ際罹災セシモノ、支辨ヲ要セシ等ニ由ルナリ

明治十三年七月一日ヨリ同十四年六月三十日
 至ル本第六會計一週年間當局及ヒ各港稅關慶
 務ノ事蹟ニ就キ其要領ヲ統記シテ第七回年報
 書ヲ編成シ謹テ供高覽候也

明治十四年十二月二十三日

關稅局長蜂須賀茂韶



大藏卿松方正義殿

大藏省

第七回關稅局年報

本年六月三十日日本局官吏勅任奏任判任等外其他御用裁局雇ヲ合テ現員四拾八名之ヲ配充シテ其事務ヲ分掌セシム此外奏任兼務一名都テ四拾九名トス
兼朱書ニハ係
係ニハ係

關稅局長 大藏三等出仕蜂須賀茂韶

關稅局兼務 大藏少書記官有島 武

關稅局勤務 大藏權少書記官石川有幸

掛名	長	屬	官等	外	御用掛局	雇
議案掛	二等屬野田鷹雄	貳	人			
洋文掛	四等屬小笠原庸之助	貳	人	壹	人	壹
編集掛	四等屬西川彬	三	人			四

大藏省

統計掛	四等属松田富太	六	人	貳	人
庶務掛	全	九	人	壹	人
審査掛	二等属横尾平太	三	人	貳	人
築地出張所				壹	人
合計	掛	五	人	貳	人
計	出張所	壹	人	四	人
計	出張所	壹	人	拾	人

十三年六月三十日ハ職員四拾七名ナリシニ事務繁劇ノ為ノ壹名ヲ増ス

本會計年間履分セシ事務ノ文書表簿等ヲ列叙ス

立案セシ議牒 七百九拾七件

製為セシ計表 七百六拾八葉

編製セシ簿冊 四冊

翻譯セシ文書 千。三拾枚

製為セシ帳簿 百。貳冊

謄寫セシ文書 壹万貳千。五拾貳枚

送付セシ文書 千六百九拾五通

領収セシ文書 貳千貳百三拾五通

送付セシ電信 百七拾八通

領収セシ電信 八拾四通

本會計年間當局ニ於テ収入シタル第一種稅中舊貨幣洋銀等ハ新貨幣金位ニ改算シ全ク其總額ヲ掲擧ス。

十三年度

金貳百四拾五万三千八百七拾七圓七拾壹錢四厘

同年度間六港稅關及ヒ外務省ニ於テ収納セシ

總額ヲ掲擧ス

金百九拾万四千九百三拾五圓四拾九錢九厘	横濱税關
金五拾壹万九千七百七拾九圓五拾五錢七厘	神戶税關
金五万九千九百四拾圓四拾九錢壹厘	大坂税關
金拾壹万貳千貳百三拾八圓拾貳錢五厘	長崎税關
金三万五千〇〇三圓三拾九錢四厘	函館税關
金貳百六拾八圓三拾七錢四厘	新潟税關
金拾圓	外務省

總計

金貳百六拾貳万四千七百七拾五圓四拾四錢

前ニ録スル所ノ十三年度ノ金額ト後ニ掲ル所ノ六港税關及ヒ外務省収納ノ總額ト同年度ノ収税ニシテ金拾七万〇貳百九拾七圓七拾貳錢

六厘ノ差違ヲ生スル所以ノモノ八十四年六月三十日迄ニ已ニ税關ノ收入シ得テ未タ當局ノ領収シ畢ラサレハナリ

十二年度

金拾六万貳千貳百五拾六圓八拾六錢八厘

前會計年度中既ニ税關ノ收入シ本年度中ニ至リ當局ノ領収シ得ル所ノモノナリ

事務成績

一洗濯用石礮課稅方件

明治十三年二月中神戸税關洗濯用石礮ノ課稅方ヲ稟シ稅目第四種ニ掲ル香具石礮ト同一五分ノ徵稅ヲ指令セリ於此同年三月横濱税關稟議シテ曰抑棹ナル文字ハ原洗濯用石礮ト云フ意義ヲ指示ス為ニ使用セシモノニシテ其初ハ棹ノミナリニ後作業漸ク進歩シテ「ケ」キ形ノモノヲ造出シ其形ヲ變スルモ性質ニ變換ナク尚之ヲ「バ」ソ「プ」ト名ク「バ」ソ「プ」ハ洗濯用石礮ニ冠スル普通ノ名稱タリ無香氣棹製ノ香具石礮ハ都テ「バ」ソ「プ」ト稱スルヲ得ス若シ然ク唱ニハ名ノ

裁省

明治十三年二月二十日
 神戸税關長 櫻田 啓
 横濱税關長 山本 啓
 東京税關長 山本 啓
 大阪税關長 山本 啓
 神戶税關長 山本 啓
 京都税關長 山本 啓
 名古屋税關長 山本 啓
 仙台税關長 山本 啓
 青森税關長 山本 啓
 岩手税關長 山本 啓
 秋田税關長 山本 啓
 山形税關長 山本 啓
 福島税關長 山本 啓
 茨城税關長 山本 啓
 栃木税關長 山本 啓
 群馬税關長 山本 啓
 埼玉税關長 山本 啓
 千葉税關長 山本 啓
 水戸税關長 山本 啓
 信州税關長 山本 啓
 越前税關長 山本 啓
 富山税關長 山本 啓
 石川税關長 山本 啓
 福井税關長 山本 啓
 滋賀税關長 山本 啓
 岐阜税關長 山本 啓
 愛知税關長 山本 啓
 三重税關長 山本 啓
 奈良税關長 山本 啓
 和歌山税關長 山本 啓
 徳島税關長 山本 啓
 香川税關長 山本 啓
 高松税關長 山本 啓
 愛媛税關長 山本 啓
 高知税關長 山本 啓
 徳島税關長 山本 啓
 香川税關長 山本 啓
 高松税關長 山本 啓
 愛媛税關長 山本 啓
 高知税關長 山本 啓

為ニ性質ヲ變換シテ洗濯用石礮ト強ク成ス
ニ至ント共テ同關雇「ロウダ」ミルラル兩氏
ノ意見書ヲ呈ス

其議ノ至當ナルヲ以テ之ヲ採用シ七月二十
一日神戸税關へ本品ハ税目第一種六拾九番
ノ定額税洗濯石礮ニ非ルハ總テ從價税徵收
スヘキヲ改メ指令シ又各税關へ達ス

一ホリビヤ國船入港取扱件

六月「ホリビヤ」國船長崎港へ入進ス米國領事
亞米利加船同一ノ手數ヲ為サレシメ「コト」ヲ
請フ税關其條約未濟ノ國ナルヲ以テ同九日
其可否ヲ稟ス

仍テ海外通航ノ日本船同様ノ取扱ヲ以テ出

入ヲ許スヘキヤヲ稟ス乃外務省へ照會アリ
同省凡條約未濟國ノ商船取扱ハ薪水食料等ノ
積入ヲ許シ困難船ハ修理ノ為ニ相當ノ便益
ヲ附與シ或ハ港中ニ於テ賣却ヲ願ハ、之ヲ
聽容シ總テ碇泊中ハ我カ税關及ヒ地方ノ規
則ニ遵守セシムヘキヲ回答ス

乃稟准ノ上七月一日之ヲ同關へ指令ス

一碇关鎖碇繩區別件

税目第二種無税品中ニ碇关鎖ノ碇繩アリ其
他鐵鎖ハ總テ課税スヘキモノトス其碇用ト
否トハ形狀ニ因テ之ヲ識別セシカ將タ大小
ニ因シカ税有無ノ別ル、所ナレハ判然區畫
セサルヘカラス六月十五日神戸税關其分界

ヲ稟ス

七月二日大小又ハ形狀ニ由テ區別スルノ規定ナシ現物ニ就テ鑒別スヘキヲ指令ス

一島原港近傍石炭直輸出件

六月二十五日工部省其所轄ノ船舶若クハ臨時雇入外國船肥前島原港近傍適宜ノ場所ニ投錨シ三池沖ト同ク三池産出石炭積込方ヲ為シノンコトヲ本省ヘ照會ス

先是十二年中本品海外輸出便利ノ為メ同省同船ヲ以テ肥前口津港ヨリ直ニ輸出スルハ既ニ允裁ヲ得爾後三池沖ヘ投錨シ解船ヨリ元船ヘ搭載シ來レリ本議請求ニ應シ支障ナカルヘキヲ稟ス裁可アリ七月八日太政官ヘ

上申同省ヘ回答アリ同日之ヲ長崎税關ヘ達ス

一硫酸輸出免稅件

大坂府下西成郡湊屋新田ニ設置セル硫酸製造會社ハ向ニ内務大藏兩省ノ免許ヲ經テ開業セリ抑該社ノ精神外ハ之ヲ清國地方ニ輸出シ英日等ノ國産ヲ壓倒シ内ハ輸出入ノ權衡ヲ補ントス然ニ該社建築ノ費用鮮カラス影響自ラ元價ニ及サハルヲ得ヌ加之清國地方ニ於テ英日兩國ノ商賈各廉價競買ノ景況アリ我カ輸出ノ減省ヲ來ス勢然ラサルヲ得ヌ六月藍靛洋紙摺附木ト一般無稅輸出ノ特典ヲ蒙ンコトヲ請願シ本府之ヲ本省ヘ申達

ス
因考是商業獎勵ノ一端ナリ願意採用アラシ
コトヲ稟ス乃チ太政官へ上申アリ七月二十
日第三拾八號ノ布告アリ
一ホリウイヤ國船賣却徵稅方件
七月六日長崎稅關電稟ス本縣條約未濟「ホリ
ウイヤ國船破損シ航海ニ能ハス當港ノ賣却
ヲ認可セシ旨ヲ報ス若シ當地居留外國人ノ
買受ナレハ條約國船舶ト看做シ入港手數ヲ
為シノ内國人ナレハ噸稅ヲ徵シ可ナランカ
八日電令ス外國人之ヲ買受ケハ唯買受ノ事
ノミ申セシメ内國人ナレハ同ノ通タルヘシ
一開拓使雇外國船小樽入港件

開拓使其管下炭山開採鐵路架設ノ為ノ機關
車器械鐵具鐵線等ヲ米國へ注文シ紐育ヨリ
風帆船ヲ雇テ積載シ之ヲ小樽港へ陸揚セン
トス獨リ小樽ノ不開港場タル物品ノ輸入タ
ルヲ以テ七月六日陸揚ノ特許ヲ得シコトヲ
本省へ照會ス
小樽港ハ函館稅關出張所ノ設立アリ取締上
障害ナカルヘシ同港入航ノ許可アラシコト
ヲ稟ス乃チ太政官へ上申セラル、ニ官准允ア
リ七月二十六日同使へ回答アリ又税金ハ小
樽直輸出ノ例ニ據リ開拓使廳ヨリ受取ルヘ
キニ協議スヘキヲ函館稅關へ電達ス
同關即日電稟ス本使雇船小樽へ着セハ雇外

國船ノ不開港場へ廻リシト同一處分スヘキ
ヤ小樽ハ直輸出許可ノ場ナレハ其カ為メ雇
入タル船ト同クスヘキヤ翌二十八日直輸出
ノ為ニ雇入タル外國船同様取扱ヘキヲ電令
ス
八月ニ至リ同使本船器械陸揚ノ上ハ他積荷
ナレ船足ノ為ニ岩内堀採ノ石炭若干ヲ該船
へ賣與スルヲ本省へ告ク仍テ税金ハ直輸出
ノ例ニ倣ヒ其使廳ヨリ受取ヘキヲ同關へ達
ス

一沒收鴉片并吸煙器具處分件
稅關條約面ニ據テ沒收セシ鴉片買上ノ件本
省向ニ内務省へ照會アリ七月七日爾後横濱

長崎ハ稅關ヨリ同港司藥場へ神戸港ハ大坂
司藥場へ送致シ同場ノ買上ヲランコトヲ衛
生局へ照會セリ先^ツ一日神戸稅關沒收セシ密
商鴉片ハ大坂出張司藥場ニ買取ヲ請求スル
ノ可否ヲ電稟ス
本議關係ノ司藥場へ通達スヘキ同局ノ回答
ヲ得十二日之ヲ横濱神戸長崎三稅關へ達ス
九月同局長崎稅關ニ多ク沒收セシ鴉片吸煙
器具ヲ貯藏セシト聞キ五六具ノ贈與ヲ得テ
參考ニ供セントノ請アリ然ニ該品ハ沒收ノ
上稅關ニ貯藏セス彼我條約ニ據テ減却スヘ
キ者ナルヲ以テ其求需ヲ辭ス
一開拓使雇船五港航回件

七月十五日、太政官開拓使、雇外國船ヲ以テ北
海道小樽、岩内、室蘭、根室、厚岸、五港ヘノ回船ヲ
允ス取締方同使ト協議スヘキ本省ヘノ達アリ
小樽外四港ヨリノ直輸出ハ函館税關ヲシテ
取締ヲ為シムルノ事曩ニ同使ト協議アリ稟
准ノ上本件取締従前協議ノ如クスヘキヲ同
關ヘ達ス
八月同使又回航出入ノ際簡易ノ處辨アエシ
コトヲ本省ヘ照會ス二十五日之ヲ同關ヘ達
ス

一長崎税關監吏補増員件

口津長崎税關出張所ハ監吏補貳名ノ在勤ナ

リシニ工部省三池、沖井島原港等ノ諸所ヘ各
船ヲ回漕シ三池石炭、船積ヲ為スニ乘監三名
ニ非レハ能ハス故ニ七月二十二日同關一人
ノ増員且之ニ充ル給額、定額金外百五十圓ノ
増加ヲ申請ス乃事狀ヲ具シテ其増額ヲ申セ
シニ同關定額金内ヨリ支辨スヘキノ指揮アリ
八月十日之ヲ同關ヘ指令ス
十四年四月同關又申請スル所アリ監吏補五
拾名中四名ヲ兩出張所ヘ在勤セシメ現員四
拾六名即チ一日貳拾三名ヲ以テ海陸ニ配賦
セリ然ニ近碇泊ノ船舶概チ八九艘多キハ貳拾
餘艘ニ及ビ毎日數名ノ連勤モ猶不足アリ不
得止準等外若クハ御用掛ヲシテ補勤セシム

獨リ監吏補ハ職制章程及々罰則ノ在ルアリ
處分區々ニシテ不便少カラズ取締ノ事務ハ
固ヨリ片時モ欠クヘカラス監吏補五名ノ増
員アラントコトヲ凡監吏補ハ特別ノ規則アリ
他吏員ヲシテ同一ノ事務ヲ取扱シムルハ不
都合タリト申議ノ聽容ヲ稟シ准許アリ五月
十三日聞届ノ旨ヲ指令ス

一 神戸港棧橋建築件

七月二十四日神戸税關申シテ曰本港外國航
行ノ日本船及々外國船ノ遠ク數丁ノ沖ニ碇
泊シ解船ノ運搬ニ物品常ニ損傷シ降雨風濤
ノ際荷役ニ能ハス碇泊時間ヲ徒費シ物品為
ニ元價ノ幾分ヲ騰貴スル一ニ棧橋ノ設ナキ

ニ由レリ因テ建築位地費用數額ヲ計察シ費
用利潤ヲ比較シ水利ニ關セルヲ以テ兵庫縣
雇外國人港長某氏へ商議セシニ深ク之ヲ贊
成シ實地ヲ略測シ建築費用凡拾萬圓内ニ止
ルヘキヲ申報セリ同縣へ照會スルニ亦同シ
元來建築ノ要ハ單ニ諸船ノ便ヲ助ルノミニ
非ス貿易盛昌ノ基ヲ為シ積卸ノ荷物一處ニ
定リ税關ノ取締トナリ官吏ノ手數ヲ省キ經
費ヲ減スル等公私ノ便利少ニ非ス人民請願
ノ日地所埋立等ノ事アリ豫メ支障ノ有無ヲ
稟ス

稟准ノ上十月五日棧橋建築地所埋立人民其
筋ノ許可ヲ得テ着手スルハ差支ナキヲ指令

ス

一 小樽出張所閉鎖件

明治十一年六月北海道小樽函館税關出張所ノ設立アリシヨリ爾來直輸出ハ只一回ノミ
 本港ハ漁業ニ專ニシテ内地要用ノ物産ハ年々隆盛ナルモ海外需用ノ物貨ハ僅少ニシテ
 出張所事務モ自ラ閒暇ナリ於是七月二十四日函館税關該出張所ヲ閉鎖シ根室、々蘭、岩内、厚岸ノ四港ト同ク輸出アル毎ニ本關官吏ヲ派遣シ事務ヲ調理セシノ頻々海外ノ直輸出アルヲ待テ更ニ設立アルノ可ナルヤヲ稟ス同所設立以來僅ニ一回ノ直輸出ニ止リ其為ニ出張所ヲ設ケ官吏ヲ置クハ實ニ無益ノ事

シリ四港同一ニシテ經費ノ幾分ヲ省クヘシト稟准ノ上十四年一月十四日聞届ノ指令ヲ下シ同日本省太政官へ上申開拓使へ通知アリ二十四日同關本月三十一日限閉鎖スルヲ上申ス

一新潟税關類焼官吏救助件

八月六日新潟港火災延焼全港十ノ七ニ及フ物價俄ニ騰貴ニ刺ヘ儼借ノ家屋ニ乏ク税關等外吏以下災ニ罹ルモノ獨リ家財焼亡ノ患ノミナラス其困難實ニ見ルニ忍ビス於是二十八月日同關等外吏以下十六人ニ特典ノ憐恤アラシコトヲ請願ス

曩者函館税關在勤官吏罹災ノ者へ救助アリ



レ例ニ據リ月俸一月分救助ノ下賜ヲ申シ准
許アリ九月十日之ヲ同關ヘ指令ス

一造幣局製造硫酸海外輸出證書廢止件

八月六日本省第三拾八號公布ノ旨ニ因リ造
幣局製造海外輸出ノ硫酸買請人ヘ同局ヨリ
附與セシ證書爾後廢止ノ達アリ十日輒各港
稅關ヘ達ス

一上茶粉茶混合品徵稅件

近來時々上茶粉茶ヲ混合セシ品ヲ輸出ス是
從價品ト定額品トヲ混亂シ引據ノ稅額判然
セス八月二十日神戸稅關其見本ヲ附シテ之
ヲ稟ス

本品未夕精選ヲ經ス上茶粉茶混淆セル一種

特別ノモノナレハ輸出稅目第一種四十一項

ノ定額稅ニ引付シ難シ三十日從價五分稅ヲ
課スヘキヲ指令シ又各稅關ヘ達ス

一權櫓無稅輸出件

本年第貳拾九號木ヲ以テ製作スルモノハ輸
出無稅ノ布告アリ時ニ如斯製作品ハ總テノ
細工物ヲ指稱スト品名概目ヲ舉テ之ヲ各稅
關ヘ達ス中權櫓ノ二物ヲ載セス八月二十五
日神戸稅關權櫓ノ徵稅方ヲ稟ス

權櫓ノ如キハ木材ヲ以テ製作セシ一ノ物品
タレハ免稅ノ部類ニ入ル固ヨリ至當タリ九
月一日同ノ通タルヘキヲ指令シ又之ヲ各稅
關ヘ達ス

一新潟稅關長屋模樣替件

新潟港火災以來同港稅關等外吏、附屬傭等假寓十キニ苦ムモノアリ九月二日同關、幸ニ本關構内ノ運漕方水夫溜所トセシ長屋一棟ノ破損ヲ修理シ彼困難者ヘ借與セハ獨リ住居ヲ得ルノ喜ノミナラス一ハ關務上ノ便利ヲ得一ハ稅關構内ノ取締トナラニ費額金四百五十圓ヲ目途トシ修繕ノ特許ヲ蒙ニコトヲ申請ス

本議聽容アラニコトヲ稟シ裁可アリ二十二日聞届ノ旨ヲ指令ス十月ニ至リ長屋土臺ノ朽腐殊ニ多キヲ以テ金四拾五圓ノ増加ヲ請願シ稟准ノ上又其許可ヲ指令ス

一困難船積荷上屋へ陸揚ノ後通關セス直ニ他船へ積入ル徵稅方件

九月十日長崎稅關稟議ス困難船入港シ船具又ハ積荷損傷ノ分、假ニ上屋へ陸揚ノ後居留ノ外國人若クハ船主、引受人之ヲ買受、通關セスシテ直ニ他船へ積入ルモノハ船移ト同ク無稅タルヘキカ如シ然ニ貿易章程第二則中修復ノ為ノ入津セシ船へハ運上十ク積荷ヲ陸揚シ若右荷物ノ内ヲ賣拂トキハ其荷物丈ハ規定通日本役所へ運上ヲ納ムヘキノ文アリテ稅關通不通ノ明文ナシ然則縱ニ通關セサルモ賣拂ノ判然タルアラハ輸入稅徵收ノ上船積ヲ許スヘキヤ

條約第十條ノ成文ニ據ルニ未タ内地ハ輸入セサル物品ニ課税セサルハ明白ニ又借庫規則第十二條ニ觀ルニ縱ヒ物品ヲ賣買シテ其荷主ヲ變換スルモ為ニ其税ヲ課セサル疑ナシ仍テ稟准ノ上十月二日假令其荷物ヲ賣買スルトモ通關セサルモノハ課税ヲ須サルヲ指令ス

一白耳義國フランク金換算方件

九月蘭商某輸入ノ物品元價白耳義國フランク金ナルヲ以テ告ク神戸税關九年四月施行ノ内外金貨價格表中白耳義國貳拾フランク換算ニ據テ納税セシム荷主貳拾五フランクヲ以テ購買セシ品ナルヲ主張ス十六日兩貨

幣ノ徵稅方ヲ稟ス

該表中貳拾五フランク貳拾フランクノ二種ヲ掲ク現今彼國專ラ流通スル金貨ハ貳拾フランクト聞ケリ然則是ニ從ヒ貳拾五フランクノ換算ヲ用ニカ彼他日減税ヲ圖ルノ恐アリ寧ニ憑據ナキノ故ヲ以テ貳拾フランクノ換算ヲ用ルノ嚴ナルニ如カス先ツ彼地流通ノ價格ヲ質スヘキヲ稟シ外務省ト往復アリ乃稟准ノ上十一月十七日貳拾五フランク金貨ヲ以テ該品ヲ購買セシ明證ナシ白耳義國現今ノ通貨タル貳拾フランク金貨ノ價格ヲ以テ換算徵稅スヘキヲ指令ス

一新潟税關所屬官舎元價改方延期件

新潟税關所屬官舎ハ明治十年九月ノ建築ニ
シテ本年九月ニ至リ滿三年タリ同關官舎貸
渡規則ニ基キ現今賣買相場ヲ評價セシメシ
ニ該港火災後諸材木及ヒ職工賃錢殊ニ騰貴
シ古家作ニ至ルマテ非常ノ騰貴ヲ來シ建築
元價ニ比スレハ殆ト三倍ニ登リ其實尋常ノ
時價ト者做シ難シ今其率ヲ以テ之カ宿代ヲ
徵スルハ甚タ穩當ナラスト同月十七日三年
間元金改更ノ延期ヲ請願ス
此評價ヲ以テ爾後三年ノ宿代ヲ定ルハ不相
當タリ當期三年間建設ノ時ノ元價ヨリ割附
タル宿代ノ据置アラシコトヲ稟シ乃太政官
ハ開申セラレ官准允アリ十一月九日聞届ノ

旨ヲ指令ス

一朝鮮國製生絲輸出税件

朝鮮國製ノ生絲ハ品位粗惡ニシテ元價殊ニ
賤ク内國製玉絲ト伯仲ノ間ニアリ故ニ内國
製ノ生糸ト同額ノ輸出税ヲ徵課シ難シト為
シ九月二十一日長崎税關是等ノ絲ハ我玉絲
ニ比附シ徵税スヘキヤヲ稟ス
原來本件ハ積戻ノ品ニシテ内國輸出品ニ非
ス之ニ輸出税ヲ課スルハ其謂ハ十月九日
税金徵收ヲ須サルヲ指令ス
一各書手數徵收方件

各書手數料壹元半徵收ノ事ハ英國貿易定則
第六條ニ掲ク十月一日神戸税關夫船難ニ罹

リシ貨物ノ入庫ニ方リ壹通ハ本人所持シ他
壹通ハ本國へ回送スル如キノ類同一證書貳
通以上ノ渡方ヲ請願セハ縦ヒ證書ハ同一ナ
ルモ其實數通ノ證書ナレハ各書ノ文意ニ依
リ每通其手數料ヲ徵收スヘキヤヲ稟ス
八日同一事件ニ貳通以上ノ證書ヲ附與スル
ノ理ナレ但本書ノ寫ヲ附與スルトキハ貿易
章程各書ノ項ニ據リ每通壹元半ノ徵收ヲ指
令ス

一 鮑磨具徵稅方件

十月一日神戸稅關見本ヲ添テ稟ス鮑貝ハ稅
目ニ據ルニ定額稅ニシテ見本ノ如キ鮑磨具
ハ從價稅ヲ課シテ貨主更ニ異議ナレ然トモ

本年七月以來見細具ハ無稅ニ屬セリ本品尚
一層ノ細工ヲ要スル品ナルモ既ニ幾多ノ人
工ヲ經ルモノナレハ無稅輸出ノ至當タラン
カ
是鮑貝ヲ以テ薄片トナシ精磨セシモノニシ
テ鮑貝ヲ以テ製作セシニ非ス猶銅ノ銅線ニ
於ルカ如シ無稅ニ屬スル品類ニ非ス十月八
日從價稅徵收スヘキヲ指令ス
一 輸入稅未納品朝鮮へ輸送徵稅方件

十月六日神戸稅關電信ヲ以テ稟ス輸入稅未
納品船移ノ上、朝鮮へノ回送ハ本關徵稅ヲ至
當トス然ニ長崎同一無稅通關ヲ願出スル者
頻々ナリ是何ノ義ナリヤ輒電令ス輸入未納

稅品船移ノ上、海外へ輸出スルハ總テ徵稅セ
サル規則タリ

翌七日重テ朝鮮貿易ハ内地回送同様ノ旨布
告アリ獨リ稅未納品船移ニ限リ海外取扱ノ
規則ニ據ルヘキカラ稟ニ輸入未納稅品ヲ船
移ニ又ハ稅關倉庫ヨリ朝鮮へ輸送スルハ他
海外行ノ取扱ニ依ルヘキヲ今ニ尋テ本品朝
鮮へノ輸送徵稅スヘカラサルノ所以三條ヲ
舉テ之ヲ同關へ示達ス

一 夷港出入内外船及ヒ貨物取扱件

十月六日新潟稅關稟議三條ヲ呈ス第一從來
夷港ハ一時借庫入ノ外貨物ヲ陸揚船積スル
ノ例ナシ舊幕府外國事務執政英公使ノ對話

書等ニ據レハ新潟ヲ五市場トシ夷港ヲ繫船
場トシ物品ハ新潟ニ於テ交易シ夷港ハ避難
ノ繫船場ニシテ貨物ノ陸揚船積ヲ許サス一
時借庫ニ藏入スルニ止ルカ如シ澳地利條約
ニ據レハ夷港ハ一開港場ニシテ成規ノ出入
港手數及ヒ收稅等ヲ為スヘキニ似タリ何レニ
從テ取扱ヘキヤ第二外國船一時避難ノ為ニ
入港シ貨物陸揚船積ヲナサルモ四十八時
ヲ經過セハ成規ノ入港手數ヲ為サレムヘキ
ヤ第三明治八年第百六拾三號布告西洋形日
本船各開港場出入規則中夷港ナシト雖トモ
今夷港ヲ以テ新潟ノ一部内ト省定セハ同所
ニ於テ手數ヲ為シノ該則ニ違犯セルモノハ

從來ノ手續ヲ以テ處分スヘキヤ
因テ澳地利條約文ヲ閱スルニ和英吻合セサ
ル所アリ先外務省ノ意見ヲ問フコトヲ稟ニ
同省ト往復アリ
乃稟准ノ上十二月十八日指令ス第一通常出
入スル船舶ニ論テク避難ノ船舶モ更ニ貨物
ヲ積卸スレハ出入港手數ヲ為シノ其手數料
ヲ徵シ輸出入貨物ハ成規ニ從ヘシ但夷港ハ
新潟ノ一部タレハ新潟港ニ於テ手數料徵收
既濟ノモノハ夷港ニ於テハ徵收セス其夷港
ニ於ル亦同ニ第二成規ノ手數ヲ須ヒス第三
百六拾三號布告中明文無キヲ以テ該則ニ準
據シ難シ

一 横濱稅關新築倉庫貸渡件

横濱稅關煉瓦造倉庫三棟ノ新築ハ明治十二
年九月太政官ノ裁可ヲ經テ着手シ竣功近ニ
在リ十月十一日同關本庫建設ノ主意ハ專ラ
我通商ノ便益ヲ助ルニ在リ苟モ市民ノ共益
ヲ圖リ之ヲ借シコトヲ願フ者アラハ將ニ之
ヲ許シトスト倉庫貸渡命令書ヲ草シテ之ヲ
稟ス

因草案ヲ修正シテ之ヲ稟ス許可アリ二十二
日聞届ノ旨ヲ指令ス十一月八日同關本港貿
易商某ニ命令書ヲ附シ借與セシヲ上申ス
一 監吏補夏服改正件

監吏補夏服ハ從前上衣紺羅紗胴服袴ハ白亞

麻布ナリシニ白亞麻布ハ船中塗抹ノテ
等ニ添ミ汚穢ナリ易キヲ以テ明治十一年袴
ヲモ紺羅紗ニ改正セリ然ニ尚實際ニ就キ勘
查スルニ該品ニ換ルニセルヲ以テハ
價格低下ニシテ暑氣ヲ凌クニ適當ニ羅紗ニ
比スレハ一層ノ便益ヲラシコトヲ稟ス省議
裁可アリ十月十三日太政官へ十四年夏服調
製ノ期ヨリ上衣袴胸服總テ紺セルニスヘノ
改正ヲ申稟セラレ官准允アリ十一月十八日
稟准ノ上本件并保存期限未滿ノ舊服ハ混用
不苦旨ヲ各稅關へ達ス
一薩哥噠出入貨物成規違犯者處分件
魯領薩哥噠島ニ航行スル船舶へ積載ノ貨物

内外船ト出入トノ別ナク内國人ハ無稅通關
ノ特許アリ然トモ通關手數ハ他海外出入貨
物ト同シ十月十五日函館稅關稟ス若シ成規
ノ手順ヲ經ス船積若クハ船卸スル者アラハ
其貨物ハ之ヲ沒收スヘキヤ
由此諸公布規則ヲ閱スルニ如此ノ類違犯罰
則ノ條ナシ則稅關貨物ヲ沒收スヘカラス十
月十九日西洋形日本船各開港場出入規則第
二條違犯ノ條ニ據リ其地裁判所へ告訴スヘ
キヲ指令ス
一口津入港手數料件
十月二十三日長崎稅關稟ス頃日鑛山局内地
諸港ヨリ口津へ入港ノ内地船舶石炭ヲ裝載

レ海外ニ航スルニ當テ出港料ヲ徵シ之ニ賦課セシ入港料ハ廢止シ可ナルヘキヲ詢議ス然トモ本關ノ制規タル海外ヨリ入港ニ及ビ内地諸港ノ回航ヲ論ヤス一般開港場ニ入出スル外國航行ノ船舶ト同一ノ處分タリ故ニ例規ニ從ヒ入港手数料ヲ徵スヘキヤ乃稟准
十一月十六日同ノ通タルヘキヲ指令ス

一買入外國船器具徵稅方件

十月二十五日神戸稅關稟ス從來内國人外國船ヲ買入ルニ其船司上陸ノ際自用品並船用品ヲ陸揚スルニ方リ其目錄ヲ出シ一般商物ト同ク徵稅セリ然トモ船用用品中本船附屬

品即チ網具器械等ノ外銃砲鏡及ヒ望遠鏡等ヨリ器具雜什ノ類ニ至リ其船ニ附屬セルヲ以テ船用品ト唱ヘ得ルモ其實ハ家具品同一ノ性質ニシテ船籍既ニ改レハ全ク日本人所有ノ物トナリ未納稅品ヲ輸入スルト同一ノ理ニシテ徵稅勿論タルヘキヤ
仍テ橫濱稅關ノ慣方ヲ問フニ課稅セサルヲ答フ抑望遠鏡晴雨儀器皿雜什ノ如キハ網具器械等ト同視スヘカラスト雖トモ一々此等物品ヲ區分課稅スルハ實際繁雜ノ事タリ船舶備付ノ什物ハ船舶ノ中ニ會蓄ヤルモノト省做シ免稅スル穩當タリ乃稟議ヲ經十一月二十一日課稅ニ及ハサルヲ指令ス

一輸入品中徴税差異件

十一月九日神戸税關稟ス第一、原名「シリチン」
グ或ハ「ロングコロ」フ幅八拾「インチ」方内外
ノ木綿織物ハ一種特別ノ品ニシテ税目中木
綿織ノ部ニ掲記ナキヲ以テ五分税「第二、支那
製石摺法帖」ハ五分税「第三、原名「コツコロ」マツ
チンク」即チ椰子皮ヲ以テ作りタル敷物ハ税
目中第四拾壹節「マツチンク」フロ「ハ」壹卷四
拾碼零七五ノ税額ヲ以テ收税ス「第四、ベイチ
ンク、トロールス」ハ衣服ニ非ス單ニ游泳中
陰所ヲ蓋フニ用ル物ナレハ浮袋同一ノ物品
ト鑑定シ則税目外ノ物品ト見做シ五分税「第
五、シヨルス」ハ毛織及ヒ毛木綿交織ノ二種ニ

限レルヤ絹及ヒ木綿類ニテモ「シヨルス」ト稱
スルモノハ一般之ニ引付スヘキヤ税目上ノ
文字、品種ノ區別ナク單ニ「シヨルス」ト掲記ア
ルヲ以テ名義上ニ據リ一般「シヨルス」ヲ以テ
課税ス

右輸入品中ノ五項ニ就キ本關從來ノ徴税方
ニシテ横濱税關ト各異同アリト聞ケリ各港
區々ノ取扱アレハ外人ノ苦情免レ難シ敢テ
裁定ヲ請フ

乃横濱税關へ諮詢シ同關開申アリ尚考究檢
明ノ上稟議ヲ經十四年四月十六日指令ス第
一、「ベッドシート」ノ如キ方形ノモノハ從價五
分税「第二、從前ノ通從價税」第三、税目第四十一

項ノ英文ハ特リ「アンペラ」ノミヲ指稱スルモノニ非ス故ニ椰子皮製敷物ノ如キモ該項ニ會ムモノトス第四税目中股引ニ擬シ綿製毛製及ヒ毛綿製ノ各項ニ照シ徵稅ス第五税目第八十五項ハ毛織若クハ毛ト其他物質トヲ以テ交織リタルモノニ限ル但毛絹交織ノ分ハ税目第四類從價品中絹毛雜織物類ニ擬スヘキ者ニツキ該項ニ會マサルモノトス同日又之ヲ各港税關ヘ達ス

一 出入港届等開ノ者處分件

十一月二十六日新潟税關稟ス西洋形日本船各開港場出入規則第五條出入港ノ届ヲ等開ニスルノ文ニ據レハ入出港ノ届ヲ為サ、ル

ハ論テ同則第一條ノ入港届時限即チ十二時ヲ過テ届出及ヒ第四條ノ出港届時限即チ出港前二時間ヲ欠テ届出ル者猶第五條ニ照シ本關限リ科料金を徵收スヘキカ
十二月二日定則時間ニ届出サル者ハ犯則者ヲ以テ處分スヘキヲ指令ス

一 帆走船愛運丸入出港届方件

十一月名古屋浅井某所有帆走船大阪港へ入
錨シ同船愛知縣客年新規合船ノ際大藏省ノ日本形船ト省做スヘキノ指令ヲ得テ日本形船ノ鑑札ヲ受タリト入港届ヲ為スヲ肯セス
同港税關之ヲ同縣へ照會ス同縣亦云爾リ乃
以為ク帆檣綱具ノ裝置ヨリ控ヤリダシノ取

附方ニ至ルニ論ナク全船ノ外形純然タルス
ク子ル形ナリ内部船材ノ組立方縦ニ西洋
ノ造船法ニ據サルモ外部西洋形船ト異ナラ
サレハ終ニ税關所轄ニ免ル能ハス且西洋
形ト云ヒ日本形ト云モ各其外形ノ裝飾上ヨ
リ下セシ名ニシテ船骨木材ノ組立方何如ニ
拘ラサルヘシ内部ノ船材組立方ヲ以テ區別
スルハ實地行ヘカラサルノ事ナリ加之内地
ニ於テ製造スル船舶往々辭ヲ船材ノ組成ニ
假リ日本形船ノ名義ヲ附シ出入港届ヲ為サ
ルモ之ヲ責罰スル能ハサルニ至ント十四
年二月三日同縣ヘ該船鑑札更正ノ指達アラ
ンコトヲ上申ス

乃日本形ト認定セシ理由ヲ租稅局ヘ質ス同
局該船外部ハ稍西洋形ニ似タルモ内部ハ悉
皆日本形ノ造作ニシテ外部西洋形ニ據テ丈
量セントスルモ明治四年本省布達噸數改方
規則ニ從テ調査シ難ク新形日本船ト者做ス
ヲ答フ

原來日本形船ノ鑑札ヲ有シ出入港手數ヲ為
サ、ルヲ以テ税關素ヨリ手數未濟貨物ノ積
載ヲ許サ、ル者ナレハ税關所轄ノ外夕ラサ
ルヲ得ス十四年三月四日噸數改方規則石數
改方法則ハ總テ船ノ内部ヲ量リ其噸數石數
ヲ定ム本船内部ノ結構全ク日本形タルヲ以
テ日本形船ト者做スヘキヲ指令シ又各税關

へ連ス

一レヨール地織物課税件

獨逸商某新形ノ織物ヲ横濱港へ輸入シ陸揚願書貳箱ニ「カシメルト」記シ貳箱ニ「ウーレン」グーヅト記シ仕入書等ハ皆「カシメルト」記ス本港税關之ヲ鑑定スルニ普通ノ「カシメルト」ニ非ス織方模様等同一ナラサルモ概「カシメルト」ヲ子ルノ類ニシテ一個々々ニ切斷スレハ「レヨール」トナルヘキ毛織物タリ仍テ税目第八十五項肩掛ノ定額税ヲ納シメシニ荷主是ハ普通ノ「レヨール」ニ非ス壹反若干「ヤルト」ヲ連續セル毛織物即チ「カシメルト」ヲ子ルノ類ナレハ其本質ニ由テ納税スヘク如此連續

セル織物ニ「レヨール」スノ本税ヲ納ルノ理ナキヲ主張シ論議不決

十二月十九日同關稟議シテ曰本品地合ハ「フ」ラ子ル「カシメルト」等ノ織物ニシテ且數「ヤルト」連續セル反物ナレハ所製ノ目的ト實用トハ「レヨール」ナルモ税目ノ不完全ナルヲ以テ「レヨール」ト同視シ課税スルハ難カルヘシ「レヨール」用ノ織物トシ五分税ヲ徵收セシカ從來木綿課税ノ慣行ニ悖レリ然則地合ノ本質ニ由テ定額税ヲ課收スヘキカ輸入税目八十五項ニ「レヨール」ス壹枚ニ付壹分銀零五ト記載アルハ壹個々々ノ裁製ヲ指稱セルモノニシテ數個連續ノ「レヨール」ス地

ハ此定税ニ適中ヤス乃チ税目ニ掲記ナキ品
ナルヲ以テ從價五分ノ徵税至當ナルヘシト
稟准ノ上二十八日同關ヘ指令シ十四年一月
七日之ヲ各税關ヘ達ス

一顯紋縐子課税方件

輸入顯紋縐子、横濱税關ハ税目第十一項、神戸
税關ハ第十三項ニ據リ兩關課税ノ一ナラサ
ルヲ以テ昨十二年以來神戸税關ト獨逸兩某
商會トノ間ニ紛議ヲ生シ論難決定ヤス本省
外務省ト往復協議ノ末同省該品種ニ係ル木
綿織物ハ税則第一種第十三項ニ照準シ即チ
其税額ハ每拾「ヤル」ト壹歩銀百分ノ二十賦課
徵收ノ事ヲ獨逸公使ヘ照會ノ上十二月本省

一商議ス

二十八日同省ヘ許諾ノ回答アリ同日該品明
十四年一月一日ヨリ改テ各港一般税目第十
三項ニ據テ課税スヘキヲ各税關ヘ達シ別ニ
兩商會ヨリ税目第十三項ニ據ル納税ノ不服
ヲ同國領事ヘ訴出シ以來輸入ノ差税返戻ヲ
請ハ、返與スヘキヲ神戸税關ヘ達ス
先是同省同國公使ノ申告ニ由リ重テ照會ア
リ十二年ニ至リ同關領事ノ報道ヲ以テ返税
時限ノ事ヲ電稟シ仍テ一月十九日十一年十
月以來ノ分ニ係ルヲ電令ス
同月神戸税關具申スル所アリ十五日顯紋縐
子及ヒ紋金巾二種ノ見本ヲ各關ヘ配與シテ

彼此區分ヲ謬ラサルニ注意スヘキヲ達ス
一明礬類似品稅額件

米人某商會、明礬類似ノ兩品ヲ神戸港へ輸入
シ明礬ナリト主張ス稅關其質明礬ト少ク異
ナリト鑑定セシモ初度ノ輸入ニシテ稅額ノ
引付方決シ難ク十二月三十日見本ヲ將テ稅
額ノ指示ヲ仰ク

横濱稅關雇ミルル氏ヲシテ鑑定セシムル
ニ化學家ノ分析ニ非レハ分明ナラサルヲ申
ス仍テ鑛山局へ質ス同局工部化學部雇外國
人ノ檢明書ヲ以テ回答ス本品性質名稱共ニ
硫酸アルニユムニシテ一塊ハ殆ト純質、他
一塊ハ珪酸質物ヲ混入シ用處ハ明礬ト同ク

殊ニ染料、製紙等ニ充ルモノナリ

由此考之礪塊元、明礬ノ類ニシテ使用モ明礬
ト同一ナルモ名稱性質共ニ明礬ト異ナレハ
稅目ニ記載ナキモノトシ從價稅徵收至當ナ
リ二月八日之ニ指令シ又各稅關へ達ス

一關稅局日錄編修件

稅務干涉ノ公達、各港稅關ノ咨稟、各省局ノ往
復事件、其他局中日々料理セシ一切ノ事務ヲ
簡記シ一目瞭然以テ處務ノ參照トシ其沿革
ヲ審ニシ得諸便利ノ為ニ日錄ヲ編修シ明治
十四年一月一日ヨリ初ム

一清條約稅目中疑問件

日清條約書中大日本海關進口貨物稅則中牛

角鹿角ハ每百觔壹分銀壹個零々五ニシテ同
出口税則中油魚蜂蜜菜子油ハ俱ニ每百觔壹
分銀壹個零々五トス然ニ他各國ノ條約税則
ニハ各品何モ每百觔壹分銀壹個零々五トス清
國條約ニ從ハ獨リ同國人ノ少額ノ税金
ヲ課シ其權衡ヲ失フニ似タリト十四年一月
十七日横濱税關日清條約書中或ハ印刷ニ誤
アルナキヤヲ稟ス

於是條約本書ノ照查ヲ外務省ハ照會セシニ
同省誤謬ナキヲ答フ

夫清國條約税則ニ於テ壹分銀ノ分數ハ他税
則ト齟齬セシモ其計銀ハ七分五厘ニシテ他
税則ニ異ナルナキヲ以テ二月四日印刷ノ誤

謬ニ非ス定税ハ計銀ニ據テ徵收スヘキヲ指
令シ各税關ハ達ス

一税關付屬船舶旗章定正件

一月二十六日外務省本省所轄ノ諸船舶ニ關
スル諸旗章繪圖面并説明書ノ事ヲ本省ハ照
會ス

先是佛國海軍卿在日本同國公使ハ我各軍艦
ニ分賦ノ為ノ各海國ノ旗章寫圖印刷ニ着手
セリ日本國ニ於テ制定セル旗章上必要ナル
明細書及々各種摸寫圖ノ贈致ヲ移シ公使之
ヲ同省ハ申報セシニ由テナリ
抑新潟税關所屬新潟丸北越丸ノ兩船ヲ除ク
ノ外旗章ノ寸法等未タ一定セス此際幸ニ其

船ノ種類ニ從ヒ之ヲ定ニコトヲ稟シ裁可ヲ
得二月二十三日同省へ各税關付屬ノ小蒸氣
船「バツテ」ラ、日本形小船、新潟丸、北越丸ニ用
ル旗章四種、雛形ノ送付アリ同日雛形ヲ添テ
之ヲ各港税關へ達ス
一十イトレトヲソウダ徵稅方件
原名「ナイトレ」ト、ヲフ、ソウダト稱スルモノ
ヲ神戸港へ輸入シ税關實質略「ナイトレ」ト
ヲフ、ホツタース、即硝石ニ類似セルモ全ク別
種ノモノト鑑定シ税目外ト見做シ從價稅當
然ナルヘシト雖トモ最モ硝石ト區分シ難ク
各港異同アラシクコトヲ恐レ一月二十八日見
本ヲ添テ徵稅方ヲ稟ス

之ヲ閱スルニ硝石トノ異同判然セス之ヲ衛
生局へ質ス同局試験ノ上、瓶標ノ名稱ニ據レ
ハ硝酸曹達即チ所謂ル智利硝石ニシテ通常
硝石即チ硝酸加里ト異ナリ其質駁雜ナルヲ
以テ直ニ醫藥ニ供スル甚タ稀ニ主トシテ硝
酸若クハ砒酸曹達ヲ製造スルニ用ヒ且爆燃
ノ性アルモ其濕潤シ易キカ為ニ直ニ火藥上
硝石ノ用ニ充ル能ハス其他玻璃製造、諸肉罐
詰等ニ用ユヘキモ本品ハ粗惡ニシテ必要ナ
ラサルヲ答フ
五月二十八日輸入税目第二種ニ掲載アル「ソ
ルトペルト」ト其名稱、使用等ヲ異ニス從價五
分稅徵收スヘキヲ指令シ又之ヲ各税關へ達

ス
一買入船噸稅取立方件
内國人民外國船ヲ買入ル、噸稅嚮ニハ内務
省下附ノ船免狀管轄廳交付ノ鑑札等ニ據テ
計算徵課セリ明治十一年中自今船免狀鑑札
等ニ拘ラス彼國政府ヨリ附授セル船籍證書
ニ照シ噸稅徵收スヘキヲ各稅關ヘ達セシニ
基キ一月三十一日横濱稅關稟ス頃魯國某商
ヨリ内國人ヘ賣渡ノ商船噸稅假ニ總噸數ヲ
以テ徵收セリ然ニ彼國政府ヨリ附授セル船
籍證書ニハ總噸數積量噸數ノ兩者ヲ載ス是
何ニ從テ徵課スヘキヤ
改稅條約第八條第二項中其船ノ噸數ヲ定ル

為ノ日本長官ノ需ニ應シ其筋ノ「コンレユル」
ヨリ本國ノ船目錄ノ寫ヲ相示スヘシトノ文
ニ據レハ船目錄ノ噸數ハ即チ登簿ノ噸數ナ
ルヲ以テ其噸數ニ從ヒ收稅セシムヘシト稟
准ノ上二月十日同關ヘ指令シ十二日各稅關
ヘ達ス

一毛綿交織敷物徵稅方件

字商某毛綿交織敷物ヲ神戸港ヘ輸入シ差出
書中一「ハ」チツクログス一「ハ」ヲースタリアン
ス他一「ハ」フロスログスト記載セリ同港稅關
實物ヲ檢査スルニ三種共ニ模様ニ些ノ違アリ
リト雖トモ異名同品ニシテ其實質ヲ論スレ
ハ稅則第八十四項「ア」ラシケツト並馬種ノ部

ニ屬スヘキモノト鑑定シ一月三十一日其徵
收方ヲ具稟セリ
本品原名「チツクログ」ト云ヒ「フロツスログ」
ト云ヒ共ニ「ログ」ト稱スルヲ得且其形狀
モ旅用ノ為ニ作ルモノナレハ輸入税目第八
十五項ニ據リ「モヘル」敷物ヲ以テ徵税シ穩當
ナリト三月七日同關ヘ指令シ之ヲ各税關ヘ
達ス

一鴉片發摘監吏補賞與件

一月某夜三草某三菱郵船ヨリ多數ノ洗濯物
ヲ神戸港ヘ陸揚シ改品所ノ傍ニ携來レリ同
所監守ノ三等監吏補村岡良亮彼カ形狀ノ異
ナルヲ是認シ直ニ上陸場ヲ精密搜索セシニ

果シテ一ノ小包ヲ見出シ外面ヨリ之ヲ搜ル
ニ小箱ノ如キモノ若干アリ即時檢閲セシニ
鴉片貳拾罐ヲ衣類中ニ隱セリ同港税關直ニ
該品ヲ取押犯人ハ地方警察ヘ交付シ二月二
十一日暗黒ノ夜注意ノ微妙ニ由リ輸入國禁
物ノ第一ニシテ殊ニ七竹半ノ多量ナル鴉片
ヲ發摘セリ願フハ特別ノ賞與アラントヲ
上請ス
乃稟議ヲ經三月十七日本件素ヨリ監吏補當
然ノ職掌ニシテ暗黒ノ夜注意ノ行届キシニ
由テ發摘スルモ特別ノ賞與ヲ須クス惟監吏
補賞與規則ニ據リ關長限り適宜賞與スヘキ
ヲ指令ス

一朝鮮産物再輸出無稅件

我内地へ輸入セシ朝鮮産物ヲ外國へ再輸出
セシコトヲ神戸稅關へ請願スルアリ同關以
為ク日本ニ産シ輸出スル品物ニハ課稅スヘ
キハ英國貿易章程第四類ニ見ユ然ハ朝鮮産
ノ物品ニ至テハ課稅スヘキノ限ニ在サルニ
似タリ然トモ朝鮮産牛皮ノ如キ其製ノ粗惡
ナルヲ以テ内國産ノモノト一見班別シ得ル
ト雖トモ將來内國ノ黠商其模製ノ容易ニ且
輸出ノ無稅ナルヲ見ハ爭テ之カ模製品ヲ作
リ以テ脫稅ヲ謀ルノ憂ナキ能ハス加之大豆
小豆煎海鼠等ノ如キ内國産ヲ朝鮮産ト假稱
スルモ其分界ヲ區劃シ難シト二月七日同關

朝鮮産ノ確證アルモノニ限リ無稅輸出ヲ許
スヘキヤヲ稟ス

其物品ノ果シテ内國産タルヤ朝鮮産タルヤ
判別シ難キハ徵稅固ヨリナリト雖トモ其確
證ノ有無ニ至テハ實際行ヒ難カルヘシ故ニ
確證ナシト雖トモ朝鮮産ト認定スルモノハ
徵稅ヲ須ヒスト二十一日同關へ指令シ二十
二日各稅關へ達ス

一海關稅正貨金種類件

二月十五日本省十四年度海關稅其他收入正
貨ノ金種類見込進呈スヘキノ達アリ
同二十四日海關稅正貨收入金高貳百六拾萬
三百三十拾圓貿易銀、銀貨、新銅貨、壹分銀、洋銀、五

種ノ仕譯書ヲ以テ上申シ其他、收入ハ税外ニ
屬スル分ナルヲ以テ見込ヲ立用度課へ通知
ス

一ホロイトジニク外ニ種收稅方件

二月十八日神戸税關輸入品中「ホロイ、ジニク
ハ亞鉛ノ酸化物、エルロ、オロクルス」ハ鐵ノ
酸化物ヨリ成立スル一種ノ粘土ヨリ製シタ
ルモノナリ皆是塗物用ニシテ「クロム、エルロ
」ハ即チ「クロノ」トオフレツドトス前二種
ハ輸入税目中ニ書載ナキヲ以テ從價稅後ノ
一種ハ鉛質ヨリ成立キ品ナルカ故ニ輸入
税目第三十七項「レツド、ホロイト」及「エルロ
」レツドノ部ニテ定額稅ヲ課ス可キヤヲ稟

ス
之ヲ横濱税關ニ質ス同關鑑定役「ミルラ」氏
ノ辨明書ヲ添テ三品皆壹箇五ノ定額稅タル
ヘキヲ申ス

因考輸入税目第三十七項ノ主眼ハ塗料ニ在
リ其丹ト曰ヒ唐ノ土ト曰ヒ黄丹ト曰フ是塗
料類例ノ二三ヲ指舉スルニ過キス然則該三
種ノ如キ其質其用或ハ「ホロイト、レツド」ニ類
シ或ハ「エルロ、レツド」ニ類スル者ハ渾テ之
ヲ第三十七項ニ照シ徵稅セサルヲ得ス乃稟
准ノ上三月十五日三種共ニ税目第三十七項
ニ照シ徵稅スヘキヲ指令シ又各税關へ達ス
一粉末大黃課稅方件

二月英商某社精製粉末大黃ヲ横濱港へ輸入
シ税目中大黃トノミアリテ精粗ヲ別タサル
ヲ主張シ税關慣行ノ五分税ニ承服セス領事
亦改税定約ニ據リ大黃ハ百斤壹分銀壹箇ノ
定額ナルヘキヲ申告ス
先是同關税目載スル所ノ大黃ハ天然草根ノ
形体ヲ有セル粗品ヲ指シ多少ノ製作ヲ經粉
未トセシ精品ヲ含有スルモノニ非ルヲ論破
シ貸主未夕嘗テ苦情ヲ唱ヘス二十八日凡ソ
粉末大黃ハ十分ノ精製品ニシテ硝子蠟ニ詰
メ外製修飾ヲ施シ賣買上壹磅代價幾許ト稱
スルモノナレハ若シ之ヲ税目ニ掲ル大黃ト
シ定額税ヲ課セントナラハ百分ノ一ニ當ラ

ス税率ノ比例モ實ニ不適當タリ胡椒或ハ藤
ノ如キ多少ノ製作ヲ加ル者ハ税目所載ニ拘
ラス從價税ヲ徵スル慣方アリ以テ本品ノ從
價税タルヲ證ルニ足レリト課税ノ當否ヲ稟
ス
輸出運上目録中、葉煙草ト製シタル煙草、茶ト
番茶、板昆布ト刻昆布トノ別アリ若シ單ニ昆
布、茶、煙草トノミ明記シアリトセハ其名ノ汎
稱ニ涉ルヲ以テ製シタル煙草、番茶、刻昆布ノ
如キ一ニ其定額ニ據テ課税セサルヘカラス
輸入税目第三種禁制ノ部ニ鴉片トノミ
アリ鴉片ハ汎稱ナリ其禁スル所ハ製造ノ精
粗ヲ論セス又吸用、藥用ノ別ナシ然則大黃ノ

如キ其汎稱ヲ掲載シタルモノハ其製未製ニ
拘ラス總テ同一ノ定額税ヲ課スル當然ナリ
三月十一日之ヲ指令シ各税關へ達ス
一 神戸大阪税關開閉時限更正件
凡 税關ノ開閉時限各港ハ午前十時ニ開キ午
後四時ニ閉ツ獨リ神戸ハ九時ヨリ四時ニ至
リ七時間ノ勤務ニシテ大阪ハ十時ニ開キ四
時ニ閉キ五月ヨリ十月ニ至ルマテハ九時ヨ
リ五時ニ至ル亦一年平均七時間トス其故何
ソヤ開港當初ノ兵庫知事ノ口約ト大阪開港
規則トニ遵依スルニ由レリ明治五年中時限
變更ノ議ヲ發シ在留各國領事ノ沮ム所トナ
ル十四年ニ至リ神阪關長如此不平均ノ約束

ヲ採守シ如此不條理ヲ甘受スルノ理ナキヲ
英領事及々各國商法會議所議長ニ談話セシ
ニ各同意贊成セリ乃二月二十八日此機ヲ失
ハス各港同一ノ時間ニ復セント欲ス本件豫
メ委任ノ許可ヲランコトヲ上請ス
本議至當タリ稟准ノ上各國領事ト協議決定
スヘキヲ指令ス
於是半關長再三各領事居留地商法會議所等
ト談判ノ末公然各國領事へ協議セシニ悉ク
承諾調印セリ四月十二日神阪税關開閉時限
午前十時ヨリ午後四時ニ至ルマテト改正シ
十五日ヨリ施行スルヲ上申ス二十一日外務
省へ通報アリ

一 硫黄輸出税免除件

米國公使、外務省へ具報シテ曰、在横濱米國某氏ハ日本境内硫黄坑多ク中ニ就テ日本人會社ノ手ヲ以テ採掘スル者數所ナリ其硫黄ノ見本ハ合衆國ニ於テ大ニ聲價ヲ得彼地硫黄ヲ需用消耗スル夥多ナルヲ申シ某氏ハ又日本政府、硫黄輸出ノ廢除アラハ日本會社ハ該產物ヲ以テ一大有益ナル貿易ヲ合衆國ニ開クノ日遠カラサルヘキヲ告ク

貴國今日是ニ賦課スル輸出税ハ壹噸、墨銀壹元六拾「セシ」トナルカ故ニ終ニ日本産硫黄ヲ米國市場ヨリ拒絶センコトヲ恐ル貴政府夙ニ日本産物中ノ主要ナル者ニツキ多クハ輸

出ノ免税アリ該品モ亦然ナラハ必貴邦人民ニ大利益ヲ與ヘ竟ニ硫黄ノ一大通商ヲ日米兩國間ニ樹ルニ至ン實ニ財政上ノ良策ナラスヤ

二月同省本省ノ意見ヲ問フ本省下命アリ乃推究ノ上硫黄税ノ收額、年々凡貳千圓内外ニ過キス歳入上此僅少ナル税額ヲ減スルモ為ニ輸出ノ高ヲ増加マハ國益ノ一端タルヘシ該品輸出税ノ免除アラシコトヲ稟ス三月二十九日太政官へ上申、同省へ回答アリ四月二十九日第貳拾七號ノ公布アリ

一 輸入藥用「レ」シ「ト」オ「イル」課税件
從來神戸港輸入ノ「レ」シ「ト」オ「イル」ハ罐入

ニシテ毎罐正味五拾六「ホント」代價每「ホント」
貳片半乃至三片トス輸入税目中其名稱ヲ掲
載セス元鑑定役「スコツト」氏同港税關在勤中
只塗油ニノミ用ル品タルノ發議アリシ以來
定額品ト決定シ同關即チ輸入税目第三十七
項塗油ノ部ニ據テ收税セリ今回尙某龍動
ヨリ輸入セシ品ハ同ク「レン」ト「オ」ト「ル」ト
ルモ瓶入、每瓶正味壹「ホント」代價每「ホント」九
片ニシテ用方ハ只藥用ニノミ供スル品ナリ
三月二日同關藥用ノ分ニ限リ從價税ヲ課ス
ヘキヤヲ稟ス
塗油ノ定税タル載テ税目第三十七項ニアリ
獨リ其品種ヲ明記シアラサレハ苟モ塗用ニ

供スル分ハ總テ定税ヲ課スヘキ者ナリ藥用
若クハ食用ニ供スル者ノ如キハ別ニ定税ノ
指示スヘキナキヲ以テ從價税ヲ課スルノ外
ナシ然則油類ニ限リ專ラ其使用ニ就テ定税
ト從價税トヲ鑑別セサル可カラヌ三月十五
日塗油ノ外ハ總テ從價税ヲ課スヘキヲ指令
シ共各税關ヘ達ス
一 監吏補罷免旅費支給方件
監吏補ハ永ク奉職セシムヘキ獎勵ノ為ノ十
三年二月中滿二年以上勤續ノ者ハ免職歸國
旅費ノ支給方ヲ定メ、爾來二年以上勤續ノ
者續々職ヲ辭シ恩典ノ帝ニ勸奨セラサルノ
ミナラス反テ辭職ヲ促スノ媒タルカ如キア

ルハ是其年限ノ短少ナルカ故ナレハ尚年限
ヲ延シ勤續ノ支給滿五年以上ト改正セシコ
トヲ稟シ裁可アリ三月二十四日監吏補給與
規則第十條中滿二年ヲ滿五年ト改正セシヲ
各港稅關ヘ達ス

一朝鮮產品再輸入徵稅方件

四月四日長崎稅關電稟ス本港ヨリ朝鮮產品
ヲ海外ヘ無稅輸出シ再々本港ヘ輸入セハ尚
無稅通關セシム可キヤ
明治七年中神戶稅關外國品輸入稅濟ノ上本
國又ハ他邦ヘ積廻セシ證書ヲ附貳シ再々其
港或ハ他開港場ヘ輸入スル取扱方ノ稟議ニ
對シ新ニ輸入セルモノト着做シ收稅スヘキ

ヲ指令セリ今朝鮮產品ト雖トモ朝鮮ヲ除キ
一旦他海外ヘ輸入セルモノナレハ朝鮮國ヨ
リ輸入セルノ外收稅相當夕リ六日朝鮮國ヲ
除キ他海外ヨリ朝鮮產ノ物品ヲ再々輸入ス
ルハ收稅スヘキヲ電令ス

一積載鴉片告發者賞賜件

三月橫濱港前田茂助着港ノ三菱郵船ニ到ル
清國人室内ニ隱匿鴉片アルヲ探知之ヲ在
監監吏補ニ告補又出張監吏ニ告乃チ手配搜
索セシニ果シテ吸煙鴉片拾八匣此斤數九「ホ
」トヲ室内ニ隱匿セリ四月二十日同港稅關
縱々其告知ナキモ該室ハ素ヨリ搜索スヘキ
所ナレハ見逃スハキ場ニ非スト雖トモ發見

便ヲ得ルハ實ニ豫告ノ功ニ由レリ密商
知者賞與ノ例ニ準セハ他獎勵タルヘク本品
價額ヲ鑑定セシメ凡壹「ポイント」四元ノ率
ヲ以テ通算即チ九「ポイント」ノ總價三十元ト
ス只賣却實價ヲ定ムヘカラサルノ品ナルヲ
以テ乃チ金拾五圓ノ賞與アラントヲ上請
ス
上請實ニ穩當タリ獨リ該品ハ尋常商品ト殊
ナレハ豫定ノ内規ニ據リ賣却品代半額ノ下
賜ト一視スヘカラスト雖トモ均是密商品ナ
レハ右ニ準シ該品見積代金三十圓ノ半額
拾八圓ノ下賜アラハ獎勵上權衡ヲ失ハサル
ヘキヲ稟セシニ金額ハ同關上請ノ如クタル

ヘキノ指揮アリ五月十六日申出ノ通取計
キヲ指令ス

一英國瀛船無手數出港件

四月毎月數回長崎上海間ヲ通航スル英瀛船
某號手數未濟ニテ長崎ヲ出港ス稅關其代理
人英人某ヲ召テ之ヲ糺スニ本日事務殊ニ多
忙ニシテ該船手數ノ履行ヲ怠失シ却テ瀛船
某號入港手數料受取書ヲ該船ノ出港手數料
受取書ト誤認セシヲ謝ス同領事へ照會セシ
ニ領事亦本書ノ誤解ヨリ該船書類ヲ交附セ
シヲ釋ク二十二日同關之カ處分方ヲ稟ス
無手數出港ノ事ハ貿易章程中明文ナキヲ以
テ之カ處分ヲ確定シ難ク且領事代理人ノ錯

誤ニ出ル明瞭ナレハ出港手數ハ代理人ヲシテ履行セシメ將來ヲ領事ニ戒告スルノ外ナシ五月二日電信ヲ以指令ス

一支那製アンペラ敷物徵稅件
四月十六日神戸稅關伺ヘノ指令ヲ各稅關ヘ達ス中ニ稅目第四十一項ノ英文ハ持リ「アンペラ」敷物ヲ指稱スルモノニ非ス故ニ椰子皮製敷物ノ如キモ該項ニ會ムモノトスルノ文ニ據リ同二十三日長崎稅關本關從來椰子皮敷物ハ該項ニ基キ定額稅支那製「アンペラ」敷物ハ從價五分稅徵收シ來レリ抑支那製「アンペラ」敷物ハ壹個縱凡二拾「ヤルト」横一「ヤルト」前後ニシテ二枚ヲ合セ或ハ一枚ヲ以テ製シ

寢臺等ノ上ニ敷ク者トス稅目第四十一項ニ會ム者ニ非ルヘキヲ稟ス
僅々ニ「ヤルト」内外ノ蔭蓆ノ如キハ固ヨリ從價稅ニ屬スヘキモノニシテ稅目第四十一項ニ依據スヘキニ非ス故ニ五月四日稅目第四十一項ニ會マサルヲ指令ス

一新潟東京往復旅費支給件
四月二十六日新潟稅關本港東京ノ往復旅費ハ近道三國路ノ支給トス冬季ニ至レハ積雪ノ危險アルヲ以テ例年十二月ヨリ翌年三月ニ至マテハ信州路ノ支給ニ定ノラル然ニ本年ハ非常ノ大雪ニシテ温氣ノ時節ニ方レハ積雪解類ニ危險ノ場所殊ニ多ク為ニ通行シ

難キヲ以テ已ヲ得ス實地信州路往復ノ分ハ
該季節ニ拘ラス相當ノ旅費支給アラシコト
ヲ上請ス
上請已ヲ得サルノ義ナルヲ以テ特殊ノ許可
ヲ稟シ裁可アリ五月十七日指令ス伺ノ通夕
ルヘシ

一長崎税關給仕小使等被服現品渡件

四月二十八日長崎税關本關給仕小使定人足
ノ被服ハ從來代金即チ冬服料三圓夏服料貳
圓ヲ以テ支給セリ然ニ物價騰貴シ本額ヲ以
テ調製シ難ク遂ニ古着等ヲ購求シ各自區々
ニシテ不体裁ハ勿論一二月ノ被服本額ヲ以
テ着用セシノ難シ以來服帽靴共ニ現品支給

ノ許可アラシコトヲ稟ス

明治五年中小使水夫定人足等ノ服料ハ假定
額用度入費ノ内ヲ以テ適宜相應ノ衣服調整
支給スルノ稟議へ許可ノ決定アリ且固ヨリ
本額ヲ以テ支給スヘカラス夏服調整ノ期迫
ルヲ以テ五月七日聞届ヲ電令ス

一新潟税關所屬漁船人民へ委託件

新潟税關所屬小蒸漁新潟丸北越丸兩船ハ開
港ノ初同港市民運輸ノ業ヲ營ム者ナキヲ以
テ政府為ニ負擔シ之カ規則ヲ設ケラレ税關
同港夷港間ノ運輸ヲ管セリ然ニ規則ノ不完
全ナル兩船ニ係ル費用年々運賃ノ收額ニ超
過スル平均貳千七百餘圓ノ多キニ至レリ

八月中東京府平民平野富二新潟縣平民荒川
太二兩船相當ノ價額ヲ以テ年賦買受ノ上專
ラ外國人ノ使用ニ供シ傍ラ人民自己ノ運輸
ニ便セントス該船ニ係ル一年官費ノ半額ヲ
補助金トシ年々下附アラシコトヲ東京府へ
請願シ同府之ヲ本省ニ稟ス
乃船價年賦ノ金額ト下附スレハキ補助金トヲ
計較スルニ補助金ヲ下附スレハ一年賦拾有
餘圓ノ超過アルヲ以テ寧無借料ニテ十年間
兩船運送ノ事業ヲ委託シ之ヲシテ船舶修繕
及ヒ乘組人給料其他一切ノ諸費ヲ負擔セシ
メ運賃ヲ委託人ノ所得ニ歸スルニ若カス年
期中船ノ所有權ハ依然稅關ニ存シ條約面共

休面ヲ變更セス且年々差金若干ノ利益アリ
殊ニ稅關ノ手數ヲ省ケリ十年以内ニ該條約
解除スレハ兩船ノ代價即チ壹萬三千六百五
拾圓ノ十年賦年金千三百六拾圓ノ率ヲ以テ
餘ル年季ニ乘シ上納セシメント之ヲ稟ス乃
チ太政官へ申稟アリ十四年五月三十日ニ至
リ准許アリ六月九日七月一日ヨリ本業請願
人へ負擔セシムヘキ東京府へノ指令アリ同
日又命令書ヲ添ヘ之ヲ同關へ達ス

一從價買上品賣捌方更換件
横濱稅關明治九年中從價買上品賣捌方ヲ三
井物産會社ニ托セシヨリ續テ今ニ到レリ頃
日同會社損失ノ負擔ニ耐エサルヲ以テ之ヲ

辭ス適東京府下日本橋區室町藥種商資生堂
支配人宮崎佐平三井銀行ノ保證ヲ以テ其受
負ヲ請願セリ稅關其身元ヲ檢スルニ極テ堅
確且銀行ノ保證アリ宜ク同會社ノ辭退ヲ聽
容シ資生堂ノ願意ヲ採納スヘシト五月十一
日命令書案ヲ添テ稟ス
辭退已ヲ不得ニ出資生堂ヨリ三井銀行保證
ヲ以テ之ヲ願フハ稅關ノ便益タリ同會社ト
齊ク豫メ下附アリシ資本金ヲ貸與シ賣捌ヲ
依托セシムヘシト命令書へ更正ノ掛紙ヲ付
シテ稟シ裁可アリ六月十一日之カ指令ヲ下
セリ

一臨時開關中船移願謝金徵收方件

五月十三日長崎稅關稟ス某商社其所屬甲船
荷仕役ノ為メ臨時開關中他一商社ニ於テ其
所屬乙丙等ソ船舶ヨリ甲船へノ船移ヲ願ヘ
ハ更ニ開關願ノ手數ヲ為サシメタリ若シ甲
船ノ開關願主タル某商社ニ於テ他所屬乙丙
等ノ船舶ヨリ甲船へ船移ノミヲ追願スルト
キハ謝金別ニ徵收セサルヘキヤ
荷仕役ノ為メ臨時開關中其願主ヨリ尚船移
ヲ願出ルモ為ニ再ヒ謝金ヲ徵收スルノ理ナ
シ五月二十日指令ス同ノ通タルヘシ
一内國人船中ニ於テ外國人輸入ノ貨物ヲ買取
納稅セスシテ直ニ船移ノ上朝鮮へノ輸取出
扱方件

神戸港居留外國人ノ名ヲ指シ輸入セシ物品
ヲ船内ニ於テ直ニ内國人ノ名ニ改メ稅未納
船移ノ上朝鮮ヘノ回漕ヲ同港稅關ヘ願フア
リ同關例ナキヲ以テ之ヲ拒シニ更ニ長崎港
ヘノ回漕ヲ願フ乃成規ノ手續ヲ為シ直ニ之
ヲ其稅關ヘ照會セシニ十三年五月内國人外
國人輸入ノ稅未納品ヲ引受テ船移シ朝鮮ヘ
輸出ノ稟議ニ支障ナキノ指揮ヲ得前件ノ如
キハ盡ク許放シ來ルヲ答フ
同關以謂ク文中内國人引受ト曰ヘリ則其貨
物ハ依然タル外國人ノ貨主内國人ハ只取扱
ヲ為スカ如シ若シ之ヲ許シカ朝鮮ヘ向テ回
漕スル船舶ハ獨リ外國船ノミニ非スシテ日

本形小船モ亦回漕シ得レハ小灣亦陸揚スル
ヲ得ヘク回漕貨物朝鮮開港場ヘ到着陸揚ノ
上ハ曩ニ日本積出港ノ附與セシ免狀ニ裏書
スル手續アリ朝鮮輸入ノ現證ヲ得ルヲ以テ
不取締ノ懸念ナキカ如キモ朝鮮在留ノ我領
事館僅少ノ吏員貨物ノ個數等ヲ精閲シ得サ
ルヘシ然則日本開港場ヨリ外國形ハ勿論日
本形大小船舶ヲ以テ稅未納品ヲ續々回漕セ
ハ其船タル何ノ海岸モ容易ニ繫着シ得ルヲ
以テ其幾分ヲ我不開港場ニ陸揚スルモ亦測
ルヘカラスト六月二日其取扱方ヲ稟ス
十七日我商人外國船内ニ於テ外國品ヲ買取
ルハ差支ナク該品直ニ所有主ノ名ニ改メ稅

未納ニテ船移シ又更ニ朝鮮へ回漕スルハ税
關之ヲ拒ヘキ筋ナキヲ指令ス

九
海
省

内
外

本會計年開各港輸出稅表

凡ノ輸出貨物ノ内各港ヲ合セ元價拾萬圓以上ニ至ルモノハ其品名ヲ掲ケ其餘ハ之ヲ雜貨ノ内ニ總括ス 下輸入表 亦之ニ同シ

品名	有稅品		乾鮑		鮑貝		樟腦		石炭		壳蛹		鑛銅		丁銅	
	元價	稅	元價	稅	元價	稅	元價	稅	元價	稅	元價	稅	元價	稅	元價	稅
橫濱	一位	八六六八五三	一位	二一〇七〇九二二	一位	五九七二八三	一位	九一五二	一位	五〇四〇	一位	二八七九九七	一位	六二二二一八	一位	八七五〇〇
神戶	一位	三一四四六	一位	八〇一六〇五	一位	一八三四五三	一位	一八三三六〇二	一位	七三八六八	一位	二〇二二三八	一位	三〇八八一八六	一位	一八九六九三
大阪	一位	四三六三三	一位	九九九三三〇	一位	四二六六三	一位	二九二三四八	一位	一六八三三六五	一位	一五〇七六	一位	二四四五〇〇	一位	八六二八〇〇
長崎	一位	九五四二二	一位	二一四三九〇八	一位	四五二四七六	一位	九八〇一三八	一位	一七五五〇八〇	一位	二四三三六五	一位	二五六八一六三	一位	二二二二五
函館	一位	七三三三	一位	二一六六二〇	一位	六八六三八	一位	二一六三九一	一位	二四三三六五	一位	二五六八一六三	一位	二四三三六五	一位	二二二二五
新潟	一位	一〇四四三六六	一位	二五三三六六	一位	一〇六六三六	一位	二二〇七九一	一位	一七〇八三三	一位	二五七九七	一位	二七二九八二	一位	一〇七六一四七
通計	一位	一〇四四三六六	一位	二五三三六六	一位	一〇六六三六	一位	二二〇七九一	一位	一七〇八三三	一位	二五七九七	一位	二七二九八二	一位	一〇七六一四七

本會計年間各港輸入概表

再輸入品	全計	民稅	合計	小計	船用石炭	雜貨	米	摺附木	漆器	扇子
元價	元價	元價	元價	元價	元價	元價	元價	元價	元價	元價
三、四六九四、〇〇〇	七、六五、六三、二二二	六、四一、六一四	二、三、七、九、三、二、〇	一、八、八、一、七、四、四、五、八	一、〇、二、一、〇、〇、〇	五、八、六、二、八、六、二、七、〇	三、三、六、五、八、八、四、〇	四、九、九、九、八、七、二	四、〇、〇、二、五、三、五、六、〇	一、八、一、〇、七、〇、二、八、〇
二、七、五、〇、三、一、五、〇	一、七、七、七、八、四、五、〇	一、九、二、七、六、九	五、三、五、八、五、四、二	九、五、四、五、六、四、一、六、七	〇	四、七、〇、五、七、九	一、四、三、三、七、五、〇	二、七、五、七、四、三	四、四、五、六、三、九、四、〇	四、四、三、一、七、九、六
四、八、八、〇、〇	二、〇、六、〇、四、九、二、三	二、五、三、三、九、六、四	六、三、四、九、五、三、四、六	四、八、六、九、二、〇、〇	〇	二、一、八、三、九、六、〇	〇	八、〇、三、〇、〇	一、八、〇、二、六、一、〇	六、三、五、九、六
	六、三、四、四、一、一、八、九、二		六、三、四、四、五、三、四、六	七、九、〇、二、一、九、八、一、〇	〇	五、三、一、三、五、〇	八、四、九、六、四、九、〇	一、〇、一、四、〇、〇	四、六、一、八、八、五、〇	七、八、五
	二、四、九、五、九、一、九、三、四	二、四、八、〇、〇、〇、〇	二、五、七、五、二、二、九、六、六	七、八、七、五、八、三、五、五、一	〇	五、九、五、〇、〇、〇	〇	〇	三、五、二、〇、〇、〇	〇
	一、〇、五、一、八、二、四、〇、七、二	七、五、八、九、三、七	一、〇、五、一、八、二、四、〇、七、二	三、三、四、〇、九、三、三、三、六	〇	〇	〇	〇	〇	二、一、一、五、四、七、二
	三、一、〇、五、一、八、二、四、〇、七、二	七、五、八、九、三、七	一、〇、五、一、八、二、四、〇、七、二	三、三、四、〇、九、三、三、三、六	〇	〇	〇	〇	〇	二、七、八、三、二、一、八、〇
	三、一、〇、五、一、八、二、四、〇、七、二	七、五、八、九、三、七	一、〇、五、一、八、二、四、〇、七、二	三、三、四、〇、九、三、三、三、六	〇	〇	〇	〇	〇	〇

品名	橫濱	神戸	大阪	長崎	函館	新潟	通計
有稅品	一位	一位	一位	一位	一位	一位	一位
珊瑚珠	一、二、二、三、四、〇、〇	三、三、三、八、七、〇、〇	八、〇、〇、〇、〇、〇	二、六、〇、九、五、四、〇	〇	〇	一、三、四、六、九、〇、〇
時計	五、八、八、一、一	二、七、六、八、三、三、四、〇	七、五、五、八、〇、〇	二、六、〇、九、五、四、〇	〇	〇	一、〇、四、七、六、三、一、一、〇
帆水綿	四、五、四、八、五、九、七	一、二、九、七、四、八、六、四	六、六、九、八、六、〇	一、三、三、三、四、二、〇	〇	〇	六、八、八、一、八
生金巾	三、七、八、三、九、三	九、〇、六、三、四、二、七	三、八、五、〇、〇	三、七、四、〇、八、七	〇	〇	四、一、二、六、四、三、〇、七
漆金巾	一、五、五、七、七、六、二、四、〇	四、六、三、五、七、九、四、四	三、一、九、〇、〇、〇	一、七、〇、九、八、〇、〇	〇	〇	二、〇、三、八、四、二、一、八、四
綾金巾	一、九、三、八、二、四、〇	五、五、四、九、三、〇	一、〇、一、七、〇、七	一、五、四、二、四、四	二、四、〇、〇、九、三	〇	三、三、九、九、六、一、三、九
寒冷紗	三、三、一、六、七、一、八	一、五、三、四、〇、五、九	八、九、六、七、九、九、四	一、六、四、一、八、四	一、〇、三、四、二、一、七、七	〇	五、〇、一、四、九、六、一

本會計年間各港輸出入元價稅金比較及元價諸收入總計表

種類	港名		輸出		輸入		諸收		總計		過稅	
	元價	稅	元價	稅	元價	稅	元價	稅	元價	稅	元價	稅
橫濱	二,三三六,八四〇.八〇	七,六六〇,六三〇.二二	二,七二七,八四三.〇二	七,五五五,五〇八.二八	六,二六七,四四六.〇〇	三,〇六〇,四九二.三三	二,二八八,五三三.〇七	五,一九七,九七五.七	二,一八三,五三三.〇七	二,二八八,五三三.〇七	五,一九七,九七五.七	二,一八三,五三三.〇七
神戶	三,三三三,三三三.三三	八,八八八,八八八.八八	三,三三三,三三三.三三	八,八八八,八八八.八八	三,三三三,三三三.三三	八,八八八,八八八.八八	三,三三三,三三三.三三	八,八八八,八八八.八八	三,三三三,三三三.三三	八,八八八,八八八.八八	三,三三三,三三三.三三	八,八八八,八八八.八八
大阪	四,四四四,四四四.四四	九,九九九,九九九.九九	四,四四四,四四四.四四	九,九九九,九九九.九九	四,四四四,四四四.四四	九,九九九,九九九.九九	四,四四四,四四四.四四	九,九九九,九九九.九九	四,四四四,四四四.四四	九,九九九,九九九.九九	四,四四四,四四四.四四	九,九九九,九九九.九九
長崎	五,五五五,五五五.五五	一〇,〇〇〇,〇〇〇.〇〇	五,五五五,五五五.五五	一〇,〇〇〇,〇〇〇.〇〇	五,五五五,五五五.五五	一〇,〇〇〇,〇〇〇.〇〇	五,五五五,五五五.五五	一〇,〇〇〇,〇〇〇.〇〇	五,五五五,五五五.五五	一〇,〇〇〇,〇〇〇.〇〇	五,五五五,五五五.五五	一〇,〇〇〇,〇〇〇.〇〇
函館	六,六六六,六六六.六六	一一,一一一,一一一.一一	六,六六六,六六六.六六	一一,一一一,一一一.一一	六,六六六,六六六.六六	一一,一一一,一一一.一一	六,六六六,六六六.六六	一一,一一一,一一一.一一	六,六六六,六六六.六六	一一,一一一,一一一.一一	六,六六六,六六六.六六	一一,一一一,一一一.一一
新館	七,七七七,七七七.七七	一二,一二二,一二二.一二	七,七七七,七七七.七七	一二,一二二,一二二.一二	七,七七七,七七七.七七	一二,一二二,一二二.一二	七,七七七,七七七.七七	一二,一二二,一二二.一二	七,七七七,七七七.七七	一二,一二二,一二二.一二	七,七七七,七七七.七七	一二,一二二,一二二.一二
新潟	八,八八八,八八八.八八	一三,一三三,一三三.一三	八,八八八,八八八.八八	一三,一三三,一三三.一三	八,八八八,八八八.八八	一三,一三三,一三三.一三	八,八八八,八八八.八八	一三,一三三,一三三.一三	八,八八八,八八八.八八	一三,一三三,一三三.一三	八,八八八,八八八.八八	一三,一三三,一三三.一三
外務省	九,九九九,九九九.九九	一四,一四四,一四四.一四	九,九九九,九九九.九九	一四,一四四,一四四.一四	九,九九九,九九九.九九	一四,一四四,一四四.一四	九,九九九,九九九.九九	一四,一四四,一四四.一四	九,九九九,九九九.九九	一四,一四四,一四四.一四	九,九九九,九九九.九九	一四,一四四,一四四.一四
通計	三〇,〇〇〇,〇〇〇.〇〇	八〇,〇〇〇,〇〇〇.〇〇	三〇,〇〇〇,〇〇〇.〇〇	八〇,〇〇〇,〇〇〇.〇〇	三〇,〇〇〇,〇〇〇.〇〇	八〇,〇〇〇,〇〇〇.〇〇	三〇,〇〇〇,〇〇〇.〇〇	八〇,〇〇〇,〇〇〇.〇〇	三〇,〇〇〇,〇〇〇.〇〇	八〇,〇〇〇,〇〇〇.〇〇	三〇,〇〇〇,〇〇〇.〇〇	八〇,〇〇〇,〇〇〇.〇〇

從明治元年至十三年度諸收稅及增減比較表

年次	港名		輸出		輸入		諸收		總計		增減比較	
	元價	稅	元價	稅	元價	稅	元價	稅	元價	稅	元價	稅
一	四六六,九九〇.八一〇	一,一〇〇,〇〇〇.〇〇〇	三三五,九九二.一八一	一,〇〇〇,〇〇〇.〇〇〇	二一,五九八.三〇六	八六四,二八一.九九七	八六四,二八一.九九七	二一,五九八.三〇六	一六,八〇〇.九九五	一,〇〇〇,〇〇〇.〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇.〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇.〇〇〇
二	三六八,一七三.三〇四	一,〇〇〇,〇〇〇.〇〇〇	四五六,六三四.八五九	一,〇〇〇,〇〇〇.〇〇〇	五六,二七四.〇五九	八八二,〇八二.三三二	八八二,〇八二.三三二	五六,二七四.〇五九	一六,八〇〇.九九五	一,〇〇〇,〇〇〇.〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇.〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇.〇〇〇
三	四二八,三二六.四七四	一,〇〇〇,〇〇〇.〇〇〇	六三一,八六四.三四五	一,〇〇〇,〇〇〇.〇〇〇	七〇,三〇〇.四七〇	一一三〇,四八一.二八九	一一三〇,四八一.二八九	七〇,三〇〇.四七〇	一六,八〇〇.九九五	一,〇〇〇,〇〇〇.〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇.〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇.〇〇〇
四	六四七,〇三九.一八一	一,〇〇〇,〇〇〇.〇〇〇	六七四,六七九.四七一	一,〇〇〇,〇〇〇.〇〇〇	四四,八六三.一四一	一,三六七,五七七.七九三	一,三六七,五七七.七九三	四四,八六三.一四一	一六,八〇〇.九九五	一,〇〇〇,〇〇〇.〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇.〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇.〇〇〇
五	六七一,一五八.五七一	一,〇〇〇,〇〇〇.〇〇〇	九四〇,四一三.六四七	一,〇〇〇,〇〇〇.〇〇〇	三九,〇三三.〇二四	一,五九六,五九五.二四二	一,五九六,五九五.二四二	三九,〇三三.〇二四	一六,八〇〇.九九五	一,〇〇〇,〇〇〇.〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇.〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇.〇〇〇
六	六八一,九四九.六二九	一,〇〇〇,〇〇〇.〇〇〇	一,〇〇九,九七八.五五八	一,〇〇〇,〇〇〇.〇〇〇	四四,一八〇.五七六	一,七三六,一〇八.七六三	一,七三六,一〇八.七六三	四四,一八〇.五七六	一六,八〇〇.九九五	一,〇〇〇,〇〇〇.〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇.〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇.〇〇〇
七	六七六,三三五.九七〇	一,〇〇〇,〇〇〇.〇〇〇	九〇八,五四三.四四七	一,〇〇〇,〇〇〇.〇〇〇	四六,五六六.三三三	一,六三一,四四五.七四〇	一,六三一,四四五.七四〇	四六,五六六.三三三	一六,八〇〇.九九五	一,〇〇〇,〇〇〇.〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇.〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇.〇〇〇
八	七〇九,四七七.三四七	一,〇〇〇,〇〇〇.〇〇〇	一,〇〇九,四一九.八二一	一,〇〇〇,〇〇〇.〇〇〇	二一,二三六.〇七八	一,八三五,七三七.一一二	一,八三五,七三七.一一二	二一,二三六.〇七八	一六,八〇〇.九九五	一,〇〇〇,〇〇〇.〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇.〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇.〇〇〇
九	八五五,一〇八.四五四	一,〇〇〇,〇〇〇.〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇.〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇.〇〇〇	三三,四四三.四五五	一,九八八,六六七.六六五	一,九八八,六六七.六六五	三三,四四三.四五五	一六,八〇〇.九九五	一,〇〇〇,〇〇〇.〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇.〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇.〇〇〇
十年	九三九,五六四.三四一	一,〇〇〇,〇〇〇.〇〇〇	一,三三九,八二四.二九七	一,〇〇〇,〇〇〇.〇〇〇	三九,二六四.九一三	二,三五八,六五三.五五一	二,三五八,六五三.五五一	三九,二六四.九一三	一六,八〇〇.九九五	一,〇〇〇,〇〇〇.〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇.〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇.〇〇〇
十一年	九三八,七九五.六一	一,〇〇〇,〇〇〇.〇〇〇	一,三三九,八二四.二九七	一,〇〇〇,〇〇〇.〇〇〇	四〇,八三七.三七七	二,三五八,六五三.五五一	二,三五八,六五三.五五一	四〇,八三七.三七七	一六,八〇〇.九九五	一,〇〇〇,〇〇〇.〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇.〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇.〇〇〇
十二年	九四一,八二七.七二三	一,〇〇〇,〇〇〇.〇〇〇	一,三三九,八二四.二九七	一,〇〇〇,〇〇〇.〇〇〇	三七,五六七.三三二	二,六六一,二〇〇.四五七	二,六六一,二〇〇.四五七	三七,五六七.三三二	一六,八〇〇.九九五	一,〇〇〇,〇〇〇.〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇.〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇.〇〇〇
十三年	一,〇五一,八二四.七二二	一,〇〇〇,〇〇〇.〇〇〇	一,五二二,三一一.三八一	一,〇〇〇,〇〇〇.〇〇〇	五〇,〇四〇.七八七	二,六二二,一七五.四四〇	二,六二二,一七五.四四〇	五〇,〇四〇.七八七	一六,八〇〇.九九五	一,〇〇〇,〇〇〇.〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇.〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇.〇〇〇

本會計年間各港輸出入物品元價國分比較表

國名	輸		輸		輸		輸		輸		輸		輸		輸		輸		元	價	增	減	比	較
	入	出	入	出	入	出	入	出	入	出	入	出	入	出	入	出	入	出						
大不列顛	三、五〇四、五五六	三、九七	一八、〇四四	五三八	八、〇三二	三一〇	三、五五三	五五六	一、二九七	九四五	一、七四一	八三三	一、二、三三二	七八九	一、二、三三二	七八九	一、二、三三二	七八九	四、四七八	七五四	二、〇六	一四、五三九	九八二	四一五
佛蘭西	三、五〇四、五五六	三、九七	一八、〇四四	五三八	八、〇三二	三一〇	三、五五三	五五六	一、二九七	九四五	一、七四一	八三三	一、二、三三二	七八九	一、二、三三二	七八九	一、二、三三二	七八九	四、四七八	七五四	二、〇六	一四、五三九	九八二	四一五
日耳曼	三、五〇四、五五六	三、九七	一八、〇四四	五三八	八、〇三二	三一〇	三、五五三	五五六	一、二九七	九四五	一、七四一	八三三	一、二、三三二	七八九	一、二、三三二	七八九	一、二、三三二	七八九	四、四七八	七五四	二、〇六	一四、五三九	九八二	四一五
合衆國	三、五〇四、五五六	三、九七	一八、〇四四	五三八	八、〇三二	三一〇	三、五五三	五五六	一、二九七	九四五	一、七四一	八三三	一、二、三三二	七八九	一、二、三三二	七八九	一、二、三三二	七八九	四、四七八	七五四	二、〇六	一四、五三九	九八二	四一五
支那	三、五〇四、五五六	三、九七	一八、〇四四	五三八	八、〇三二	三一〇	三、五五三	五五六	一、二九七	九四五	一、七四一	八三三	一、二、三三二	七八九	一、二、三三二	七八九	一、二、三三二	七八九	四、四七八	七五四	二、〇六	一四、五三九	九八二	四一五
東印度及暹羅	三、五〇四、五五六	三、九七	一八、〇四四	五三八	八、〇三二	三一〇	三、五五三	五五六	一、二九七	九四五	一、七四一	八三三	一、二、三三二	七八九	一、二、三三二	七八九	一、二、三三二	七八九	四、四七八	七五四	二、〇六	一四、五三九	九八二	四一五
白身義	三、五〇四、五五六	三、九七	一八、〇四四	五三八	八、〇三二	三一〇	三、五五三	五五六	一、二九七	九四五	一、七四一	八三三	一、二、三三二	七八九	一、二、三三二	七八九	一、二、三三二	七八九	四、四七八	七五四	二、〇六	一四、五三九	九八二	四一五
瑞士	三、五〇四、五五六	三、九七	一八、〇四四	五三八	八、〇三二	三一〇	三、五五三	五五六	一、二九七	九四五	一、七四一	八三三	一、二、三三二	七八九	一、二、三三二	七八九	一、二、三三二	七八九	四、四七八	七五四	二、〇六	一四、五三九	九八二	四一五

和蘭	伊太利	丁林	奧地利	西班牙	魯西亞	土耳其	葡萄牙	瑞典及諾威	慕斯多利亞	輸		輸		輸		輸		輸		
										入	出	入	出	入	出	入	出	入	出	
七,八八〇,〇〇〇	八六六,九六四,九八〇	三三,八三六,三四〇	八二,四七〇,七一〇	五,〇三九,八二〇	五,九七六,二〇〇	一七,三七二,四六〇	九三,一三七,八四五	六三,一七八,七七〇	六,三一七,〇二〇	三〇,二四四,〇〇〇	一,三九六,五二〇	一〇〇,〇〇〇,〇〇〇	六,三七〇,一一〇	一三九,九五四,二四〇	二九,八〇三,六四〇	減	增	增	增	減
六,四九二,五七	六八九,七八五,二七	三三,七七三,三四	七七,四五〇,八九〇	一,三九六,六六〇	二九,九五九,〇七五	六,〇一四,五八〇	一,三九六,五二〇	六,二七〇,一一〇	一一〇,一五〇,六〇〇											

合計	其他諸州	哞哇	輸		輸		輸		輸		輸	
			入	出	入	出	入	出	入	出	入	出
三三,二八八,七〇	四六,四六四,五五〇	七,〇九五,四四〇	三〇,六九〇,九三五	一六,一六	三三,二八八,七〇	四四,八八九	減	增	增	增	減	
一五,九八三,二六	三九,三六九,一一〇	七五〇,〇〇〇	一八,五八〇,八九五	九九六	三三,二八八,七〇	四四,八八九	減	增	增	增	減	

本會計年間各港金銀貨幣輸入表

本日				外國貨幣						種類	港名
貿易銀	銅貨	銀貨	金貨	通貨合計	支那銀塊	銀地金	金地金	洋銀	幣		
價格	價格	價格	價格	價格	價格	オンス	オンス	價格	オンス	價格	
一七八六〇〇〇	一〇〇〇〇一〇	九七一九三〇〇	三〇〇〇〇〇	五九三六四〇〇				五九三六三四	五九三六三四	四	
				六九二三七〇六三八	四九六四二一六四五	四六二〇二〇五	一〇八一九〇六三	七二〇〇〇	七二〇〇〇	四	
						一二四八〇八九三	一五〇〇〇〇	七二〇〇〇〇〇〇	八	四	
				一六七八五四〇〇〇				一六七八五四〇〇〇	一六七八五四	四	
										四	
										四	
										四	
一七八六〇〇〇	一〇〇〇〇一〇	九七一九三〇〇	三〇〇〇〇〇	一、四九三、八五八、六三八	四九六、四二一、六四五	四六二、〇二〇、五	一〇八一、九〇六、三	八三三、四八八	八三三、四八八	四	

本會計年間各港輸出入金銀貨幣地金國分比較表

國名	價		格		增減比		較
	輸入	輸出	輸入	輸出	減	增	
大不列顛	八〇六、七〇三	八一二、五〇一	八〇六、七〇三	八一二、五〇一	減	八〇五、八九一	〇〇一
合衆國	八六一、四二六	三三八、七五〇	八六一、四二六	三三八、七五〇	減	六三〇、九二八	六三八
支那	五、〇九五、三三一	四六四、一三三	五、〇九五、三三一	四六四、一三三	減	三、八六〇、〇七四	五七一
佛蘭西	一、九六五、九七二	二〇〇、〇〇〇	一、九六五、九七二	二〇〇、〇〇〇	減	一、四五一、四一七	一四七
東印度及暹羅	三九〇、〇〇〇	七、〇〇〇、〇〇〇	三九〇、〇〇〇	七、〇〇〇、〇〇〇	減	一、九六五、五八二	二〇〇
魯西亞	八、七三六、五七八	五〇〇、〇〇〇	八、七三六、五七八	五〇〇、〇〇〇	減	七、〇〇〇、〇〇〇	〇〇〇
合計	一、四六六、九五七	一四三、一四三	一、四六六、九五七	一四三、一四三	減	七、二六九、六二一	三五七

輸出入總計	輸出入總計	幣		輸出入總計	輸出入總計
		通貨合計	貨		
貨	貨	貳分金	貳分金	貳分金	貳分金
價格	價格	價格	價格	價格	價格
六〇六、四三九	六九三、三七〇	二六八、五三〇	六九三、三七〇	二六八、五三〇	六九三、三七〇
八、七三六、五七八	一、四六六、九五七	八、七三六、五七八	一、四六六、九五七	八、七三六、五七八	一、四六六、九五七
五三七	二九一、六九八	二九一、六九八	二九一、六九八	二九一、六九八	二九一、六九八
一四九七	一四九七	一四九七	一四九七	一四九七	一四九七
七、二六九、六二一	七、二六九、六二一	七、二六九、六二一	七、二六九、六二一	七、二六九、六二一	七、二六九、六二一

品目	十三年度		前年ヨリ増		前年ヨリ減	
	数量	元價	数量	元價	数量	元價
生糸	二百八十八千六百十六斤	十百三十四万四千五百四	四十五万六千二百六十六斤	百七十七万三千三百五十四		
熨斗糸	五十一万八千七百六十一斤	六十六万四千二百九十九	五万七千七百六十二斤	六万二千九百四十四		
屑糸	百十五万四千二百六斤	八十九万二千四百七十二	十四万三千六百八十八斤	十七万二千七百七十二		
蚕卵紙	五十三万四千五百五十六枚	九十九万二千二十二	四十八万四千四百六十四	三十四万六千八百九十九		
茶	数量	元價	数量	元價	数量	元價
	二十七万五千五百六十五斤	七百七十五万九千四百五十四	八十一万二千九百九十九	七十三万三千二百九十七斤		
石炭	数量	元價	数量	元價	数量	元價
	四十二万三千五百二十二	二百三十三万五千四百四十四	三十三万六千九百七十五	七千六百〇八		
通計	数量	元價	数量	元價	数量	元價
	二百三十三万五千四百四十四	二千三百〇六万七千六百四十四	三百三十六万九百七十五	七千六百〇八		

生糸
 十一年度ノ輸出高八百六拾四万四千七百八拾八斤ニシテ價九百五万八千五百拾七圓ナリ十二年度ノ高八百五拾五万貳千三百五拾斤ニシテ價九百六拾三万貳千六百九拾五圓ナリ之ヲ

十一年度ニ比スレハ九万貳千四百三拾八斤ヲ減シ價五拾七万四千百七拾八圓ヲ増加ス十三年度ノ輸出高八百八拾六万八千六百拾六斤ニシテ價千百三拾四万四拾五圓ナリ之ヲ十二年度ニ比スレハ四拾五万六千貳百六拾六斤價百七拾万七千三百五拾圓ヲ増加セリ今試ニ十一年度ヨリ本年ニ至ル三ヶ年間年々平均百斤ノ價格ヲ掲擧スル左ノ如シ

生糸	十一年度	十二年度	十三年度
平均百斤ノ價	五百五拾圓余	六百貳拾圓余	五百六拾四圓余
三ヶ年平均百斤ノ價	五百五拾八圓余	六百貳拾八圓余	六百六拾八圓余
右前年度百斤ノ價格	六百貳拾圓余	六百六拾八圓余	六百六拾八圓余

於テ五百六拾四圓余ニ低レリ前年度ニ比スレハ五拾六圓余ノ減價ナリト雖モ本年度ノ如ク數量元價ニツナカラ著ルシク増加セシハ一ノ九年度ヲ去ラハ實ニ明治元年以來ノ巨額ナリ而シテ九年度ノ如キハ恰モ歐洲ノ凶歉ニ際會セシヲ以テ固ヨリ平年ト同日ノ論ニ非スト雖モ本年度ノ如キハ則チ彼ニ凶歉災害等ノ特因アルニ非ス抑何ソヤ賣込ノ初頭稍緩漫ナリシモ容歲ノ終リニ臨ニ俄然繁頻ノ勢ヲ現ハシ本年ニ至リ愈進ニテ愈盛ニナリシニ由ルカ為ナリ又目下報道スル所ニ由レハ晚霜桑葉ヲ傷ビ内地養蚕ニ幾分ノ障礙ヲ與ヘタリト雖モ彼支那ノ如キモ其產出高ハ凡ソ平年ノ四分ノ三

ニ過キナルベシト云ヒ又歐洲ノ養蚕者タル近年其損益相償ハサルヲ以テ一体ノ養蚕ヲ減スヘシト云フ若シ此等ノ說ヲシテ果ソ信ナラシメハ來十四年度モ亦本年度ノ如キ盛況ヲ保ツテ得ヘキ乎今左ニ本年度ノ數量ヲ歐米ノ二部ニ分チ之ヲ前年度ト比較シテ其需要ノ消長ヲ示シ併セテ需要ノ緩急ニヨリ其價格ニ影響ヲ與ヘタルヲ示サン

國名	歐	米
大不列顛	三十九萬九千六百九十九斤	減一萬三千四百六十六斤
佛蘭西	百〇七萬〇八百斤	增一萬三千九百九十九斤
意大利	一萬三千九百九十七斤	增一千五百五十六斤
合衆國	五十三萬四千四百斤	增六萬〇五百八十六斤

其他諸州	七斤	減万二千九百五十五斤	
合計	百四万四千四百七十三斤	増万九千五百五十五斤	季万四千四百斤
平均價格 每百斤	五百三十九圓余		六百三十四圓余
			増六万五千八百六十六斤

熨斗糸

十一年度ノ輸出高ハ貳拾九万六千六百八拾七斤
 ニシテ價三拾万七千八百拾圓ナリ十二年度ハ
 四拾六万六千七百九拾九斤ニシテ價六拾万五
 百八拾五圓ナリ之ヲ十一年度ニ比スレハ拾七
 万五千百拾貳斤價貳拾九万貳千七百七拾五圓
 ヲ増加シ十三年度ノ輸出高ハ五拾壹万八千七
 百六拾壹斤ニシテ價六拾六万五千百貳拾九圓十
 リ之ヲ十二年度ニ比スレハ五万九千九百六拾貳
 斤價六万五百四拾四圓ヲ増加ス今之ヲ十一年

ヨリ本年迄三ヶ年間毎百斤ノ價格ヲ示ス左ノ
 如シ

熨斗糸 平均價格 每百斤ノ價	十一年度 百〇五圓余	十二年度 百貳拾八圓余	十三年度 百貳拾七圓余
----------------------	---------------	----------------	----------------

三ヶ年平均百斤ノ價百貳拾圓余ニ當ル
 層糸

十一年度ノ輸出高九拾万八千六百四拾五斤ニ
 シテ價四拾万九千九拾三圓ナリ十二年度ハ百
 壹万五百八拾八斤ニシテ價七拾壹万九千七百
 圓ナリ之ヲ十一年度ニ比スレハ拾万九千九百四
 拾三斤價三拾壹万八千五百七圓ヲ増セリ亦本
 年度ノ輸出高八百拾五万四千貳百六斤ニシテ

價八拾九万貳千四百七拾貳圓ナリ之ヲ十二年
 =比スレハ拾四万三千六百拾八斤ニシテ價拾
 七万貳千七百七拾貳圓ヲ増加セリ今之ヲ十一
 年度ヨリ本年度ニ至ル三ヶ年間毎百斤ノ價ヲ
 掲出スル左ノ如シ

年 度	十一年度	十二年度	十三年度
平均 毎百斤ノ價	四拾四圓余	七拾壹圓余	七拾七圓余

三ヶ年平均百斤ノ價六拾四圓余ニ當ル

蚕卵紙

十一年度ノ輸出高八八拾八万八千三百六拾七
 枚ニシテ價六拾五万百六拾圓ナリ十二年度ハ
 八拾壹万三千三百四拾九枚ニシテ價五拾八万

貳千五百六拾貳圓ナリ之ヲ十一年度ニ比スレ
 ハ七万五千拾八枚價六万七千五百九拾八圓ヲ
 減殺シ本年度ノ輸出高八五拾三万四百五拾六
 枚ニシテ價九拾九万千貳拾貳圓ナリ之ヲ十二
 年度ニ比スレハ數量ハ貳拾八万貳千八百九拾
 三枚ヲ減シ元價ハ反テ四拾万八千四百六拾圓
 ヲ増加セリ抑本年度ノ景況タル尤好價ニシテ
 恰モ彼ノ九年度ノ如キ欧州凶歉需、求繁忙ノ時
 ト同價格ヲ保テリ是他ナシ往年ノ失敗慘状尚
 ホ未タ製産者ノ心頭ニ存スルヲ以テ自ラ産出
 ノ額ヲ減制シ需給其平衡ヲ得タルノ好結果ナ
 ルハ今茲ニ其價格ノ昂低ニ從ヒ大別表示ス
 ルヲ左ノ如シ

每壹枚貳拾五錢逆ノモノ	四枚	壹圓
同三拾錢逆ノモノ	壹万三千九百枚	五十七百五圓
同壹圓逆ノモノ	拾万三千貳百拾枚	九万九千七百九拾九圓五拾錢
同壹圓五拾錢逆ノモノ	六万七百拾枚	七万六千三百三拾四圓五拾錢
同壹圓五拾錢以上ノモノ	三拾五万貳千六百三拾貳枚	八拾万九千三百八拾貳圓
合計	五拾三万四百五拾六枚	九拾九万十貳拾貳圓

本年 度中 蚕種 輸出ノ 時日ヲ 示セハ 十月上旬ニ 初リ 十二月下旬ニ了リ 又之ヲ 運搬スルニ 其太 平洋ヲ 經由スルモノハ 五拾壹万四千四百五拾 貳枚ニシテ 其印度洋ヲ 經由スルモノ 僅々壹万 六千四枚ニ過キス 又十一年度ヨリ 本年度ニ至ル 三ヶ年間 平均毎壹枚ノ 價及増減表ヲ 掲出シ 觀者ノ 辨トス

平均 壹枚ノ 價	十一年 度	十二年 度	十三年 度
八拾八万枚余	八拾壹万枚余	五拾三万枚余	
七拾三錢	七拾壹錢九厘	壹圓八拾六錢八厘	
	減	壹錢壹厘	增
			壹圓拾四錢九厘

茶

十一年 度ノ 輸出高ハ 貳千四百拾万四千八百四拾 拾斤ニシテ 價五百貳拾貳万六千八百七拾貳圓 十リ 十二年 度ハ 貳千四百八万七千七百四拾七 斤 價六百九拾四万七千三百五拾壹圓十リ之ヲ 十一年 度ニ比スレハ 貳百六拾八万貳千九百七 斤 價百七拾貳万四百七拾九圓ヲ 増加シ 又本年 度ノ 輸出高ハ 貳千七百五拾五万六千六百五拾

壹斤價七百七拾五万九千四百五拾圓十リ之ヲ
 十二年度ニ比スレハ三百四拾六万八千九百四
 斤價八拾壹万貳千九拾九圓ヲ増加セリ今試ニ
 十一年度ヨリ本年ニ至ル三ヶ年間年々平均百
 斤ノ價額ヲ揭示スル左ノ如シ

茶年 度	十一年度	十二年度	十三年度
平均百斤ノ價	貳拾四圓余	貳拾八圓余	貳拾八圓余

三ヶ年平均百斤ノ價貳拾六圓余ニ當ル
 右前年度百斤ノ價格ト本年度ノ價格ト相同シ
 キモノハ各輸出港ノ景況ニ關スルヲ以則輸出
 港横濱、神戸、長崎三港ノ高況ヲ掲出シ其説明ヲ
 ナスニ横濱港ノ如キ其平均價格十二年度ニ每

百斤三拾圓余ハ本年度ニ於テ貳拾九圓余ニシ
 テ殆ント相同シ抑、該物品タル數年前既ニ衰退
 ノ徵候ヲ呈セシカ一昨、十一年度ヨリ漸ク其回
 復ノ點ニ趣キ尋テ本年度ニ至リ遂ニ明治一年
 以降其最高ノ點ニ達シ以テ生糸ニ亞クノ増加
 ヲ致セリ然リト雖モ所謂ル勝テハ必ス押シ敗
 シハ必ス懲ル、ハ人情ノ常体ナレハ或ハ此機
 ニ乘シ粗造濫製リ惡弊ヲ生シ復ヒ先年不幸ヲ
 惹起セサラントテ祈ル

神戸港十二年度ニ每百斤平均貳拾七圓余ニシ
 テ本年度ハ每百斤貳拾六圓余ニ低落スト雖モ
 決シテ輸出ノ衰退セシニハ非ス見ヨ本邦製茶
 年々旺盛ニ趣キ四國中國及九州ニ到ル慶緑茶

製造セサル慶ナシ然リ而シテ其品多ケルハ必
ス其製ノ粗ニナリ易キモノニシテ概シテ製造
者ノ弊習ト云フモ過言ニアラス然ルニ本年當
港市場ニ上ル製茶ノ如キ十中ノ五六ハ粗悪ニ
シテ所謂ル四國中國製ノ黒口ト唱フルモノナ
リ此ノ茶ヤ皆清商ノ買収スル所トナル之ニ反
シテ米國ノ如キハ近來一層極良ノ上茶ヲ好ム
カ故其輸出甚少額ナリ本年度ノ初ノ客年殘餘
ノ粗茶ヲ同國ニ輸送スト雖モ大半賣買ニ至ラ
ス巨額ノ餘剩ヲ告ケ今ニ於テ同國商賈ノ手ニ
殘スヲ以テ本年ノ茶候ニ至テハ之ヲ省ニ皆精
製ノ上茶ヲ輸送ス然リト雖モ曩ニ送リタル粗
茶ノ影響ヲ來タセシヲ以上茶ト雖モ遂ニ巨額

ヲ輸送シ得ザリシ之レ則實際茶價ノ低落セシ
ニ非スシテ前述ノ平均價ハ本年度ノ初ノ送
リタル廉價ナル粗茶ノ多キニ居ルカ為メナリ
爾來米國ニ向ツテ輸出旺盛ヲ欲セハ極メテ上
茶ヲ製出スヘシ然ラサレハ遂ニ同國ノ輸出額
ヲ減少セシムルニ至ルヘシ
長崎十二年度ニ平均毎百斤ノ價拾四圓余ニシ
テ本年度ハ每百斤拾三圓余ニ低落ス斯ノ如ク
減額ヲ來タセシ主意ハ九州地方製出ノ茶近來
横濱及神戸等へ廻漕シ他ノ茶ト混淆炮製シ而
シテ之ヲ輸出セリ故ニ本港ヨリノ輸出ハ年一
年ヨリ減少スルニ至リ
石炭

十一年度ノ輸出高ハ貳億七百拾壹万四千七百八拾五竹ニシテ價四拾六万五千五百五拾三圓十リ十二年度ノ高ハ貳億四百三拾四万六千九百八拾五竹ニシテ價四拾三万四千百三拾圓十リ之ヲ十一年度ニ比スルハ貳百七拾六万七千八百竹價貳万九千四百貳拾三圓ヲ減殺シ又本年度ノ輸出高ハ貳億五百八万貳百八拾貳竹價四拾貳万三千五百貳拾貳圓十リ十二年度ニ比スルハ數量ハ七拾三万三千貳百九拾七竹ノ増價ハ七千六百八圓ヲ減殺セリ今之ヲ十一年度ヨリ本年度ニ至ル三ヶ年間年々平均毎百竹ノ價ヲ掲擧スル左ノ如シ

石炭年 度	十一年度	十二年度	十三年度
平均百竹ノ價	貳拾貳錢貳厘	貳拾壹錢壹厘	貳拾錢六厘

三ヶ年平均毎百竹ノ價貳拾壹錢三厘ニ當ル右前年度ノ價格ト本年度ノ價格トハ些少ノ減額ヲ生シ亦十一年度ト本年度ニ於テモ些少ノ減價ヲ生シタリ斯ク年々價ノ減縮スルハ何等ノ事故ニ因ル歟曰他トシ近來炭坑開鑿ノ道大ニ開ケ加之ニ炭山數ヶ所ニ發見シ費消スル所巨多ナリト雖モ鑿出スル亦巨多ナリ故ニ價格ヲ減低セシムルモ何ソ憂ヘトスルニ足ランヤ

品目	十三年度	再輸出	全計	前年ヨリ増	前年ヨリ減
木綿糸	數量 三番至四万四千五百十竹 元價 六百二十五万八千五百五十四	五千八百九十四竹 十百四十	二番至三万八千六百十六竹 六百二十五万七千四百十四	三百九十九万九千九百五十九竹	三百九十九万九千九百五十九竹 六百六十五万五千三百三十四

生金巾	數量 四百五十五萬七千五百七十五碼 元價 二百八十八萬二千二百一十四	數量 四百三十四萬八千七百三十三碼 元價 三百七十六萬三千四百三十四	數量 四百六十八萬九千九百九十九碼 元價 四百六十八萬九千九百九十九
縮緬吳呂	數量 一千七百八十八萬八千六百八十六碼 元價 三百七十八萬八千六百八十六	數量 一千七百八十八萬八千六百八十六碼 元價 三百七十八萬八千六百八十六	數量 一千七百八十八萬八千六百八十六碼 元價 三百七十八萬八千六百八十六
赤砂糖	數量 六千七百九十八萬八千六百八十六斤 元價 三百七十八萬八千六百八十六	數量 六千七百九十八萬八千六百八十六斤 元價 三百七十八萬八千六百八十六	數量 六千七百九十八萬八千六百八十六斤 元價 三百七十八萬八千六百八十六
熟鐵	數量 三千九百九十八萬八千六百八十七斤 元價 三百七十八萬八千六百八十七	數量 三千九百九十八萬八千六百八十七斤 元價 三百七十八萬八千六百八十七	數量 三千九百九十八萬八千六百八十七斤 元價 三百七十八萬八千六百八十七
石炭油	數量 五百五十六萬八千六百八十三斤 元價 六十一萬三千七百九十七	數量 五百五十六萬八千六百八十三斤 元價 六十一萬三千七百九十七	數量 五百五十六萬八千六百八十三斤 元價 六十一萬三千七百九十七
通計	數量 十七萬五千五百五十八圓 元價 六十一萬三千七百九十七	數量 十七萬五千五百五十八圓 元價 六十一萬三千七百九十七	數量 十七萬五千五百五十八圓 元價 六十一萬三千七百九十七

水綿糸
 十一年ノ輸入高ハ貳千九拾壹万三千六百八拾
 行ニシテ價ハ五百三拾貳万五千五百拾八圓十
 リ十二年ハ貳千八百七拾六万七千六百拾壹斤
 ニシテ價ハ七百八拾壹万八千六拾七圓十リ之
 レヲ十一年ニ比スレハ七百八拾五万三千九百
 三拾壹斤價貳百四拾九万貳千五百四拾九圓ノ

増加トス又本年度ハ貳千五百六拾六万八千六
 百拾六斤ニシテ價ハ六百七拾五万七千四百拾
 四圓十リ之レヲ十二年度ニ比スレハ三百九万
 八千九百九拾五斤價百六万六千五百五拾三圓ノ減
 額ナリ抑、本邦一般綿糸ノ需求ヲ觀察スルニ綿
 布及莫大小等ノ製造ハ勿論近來絹帛ニ於ケル
 モ概、本品ヲ交織セサルモノ蓋ニ稀ナリ然ルニ
 如斯ク本年度ニ若干ノ減額ヲ來タセシ所以ノ
 モノハ他ノ原因アルニ非スシテ前年度無比ノ
 巨額ヲ輸入セルヲ以テ其餘贏ヲ本年度ニ及ホ
 セシナラン乎果シテ然ラハ内地供給ニ於テハ
 前年ヨリ寧増進スルモ決シテ減縮セシニアラ
 サルヘシ

生金巾

十一年度ノ輸入高八千五百三十六万九百貳拾九碼ニシテ價ハ貳百三拾九万六千拾九圓十リ十二年ハ六千四拾壹万八千貳百貳拾壹碼ニシテ價ハ貳百九拾五万四千五百七圓十リ之レヲ十一年ニ比スレハ千五百五万七千貳百九拾貳碼價五拾五万八千四百拾八圓ヲ増加ス又本年年度ハ四千百貳拾四万八千七百三拾貳碼ニシテ價ハ貳百三万七千六百拾三圓十リ之レヲ十二年度ニ比スレハ千九百拾六万九千四百八拾九碼價九拾壹万六千九拾四圓ノ減額ナリ夫レ本年度ニ於テ斯ク減額セシ理由ヲ觀察スルニ之レ他ナシ本綿糸ト同一ニシテ前年度非

常ノ巨額ヲ輸入セルヲ以テ此反動ヲ來タセルモノナラン

縮緬吳呂

十一年度ノ輸入高八千五百七万四千四百三拾八碼ニシテ價ハ貳百九拾壹万六千九百壹圓十リ十二年度ハ貳千八拾壹万七千八百拾五碼ニシテ價ハ三百四拾貳万四千七百六拾圓十リ之レヲ十一年度ニ比スレハ五百七拾四万三千三百七拾七碼價五拾万七千八百五拾九圓ヲ増加ス又本年度ハ千七百七拾八万五千七拾八碼ニシテ價ハ三百拾四万八千九百八拾六圓十リ之レヲ前年度ニ比スレハ三百三万七千貳百三拾七碼價貳拾七万五千七百七拾七圓ヲ減額セリ

抑本品ノ輸入近年頗ル巨額ヲ占メ概生金巾ト
伯仲スルノ勢力ヲ有セリ其原由ヲ釋ルニ彼
夙ニ我風俗ヲ視察シ工ニ内地固有ノ縮緬ニ
擬造シ又染色模様等ニ於ケルモ我好尚ニ適
随テ價直又低廉ナリ因テ前年度ニ於テハ無比
ノ巨額ヲ輸入スルニ至リシナリ唯本年ハ之
ニ比スレハ若干ノ減殺ヲ示スト雖モ之レ完ク
靡消者ノ節減ニ因ルニ非スシテ前年ノ餘裕ヲ
受ケタルニ因ルヘシ

赤白砂糖

十一年度輸入ハ五千八百八拾八斤
ニシテ價ハ貳百七拾九萬四千七百八拾五圓十
リ十二年ハ六千三百貳拾七萬貳千五百五拾三

斤ニシテ價ハ三百四拾五萬千九百拾六圓ナリ之
ヲ十一年ニ比スレハ千貳百四拾六萬七千六百
拾五斤價六拾五萬七千三百拾壹圓ヲ増加ス又
本年度ハ六千七百九拾七萬七千三百八拾九斤
ニシテ價ハ三百五拾八萬五百貳拾四圓ナリ之
シテ前年度ニ比スレハ四百七拾萬四千八百三
拾六斤價拾貳萬八千六百八圓ヲ増加セリ夫レ
斯ノ如ク年々増加スル原由ヲ觀察スルニ近來
農家富饒ヲ得シト加フルニ陸海運搬ノ至便開
進スルヲ以テ僻邑陋村ニ至ルマテ供給ノ道ヲ
廣クセシニ根スルナリ今試ニ十一年以來本
年ニ至ル百斤ノ價格ヲ左ニ掲記ス

砂糖 百斤ノ價	十一年度	十二年度	十三年度
	五圓五拾錢余	五圓四拾五錢五厘余	五圓貳拾六錢七厘余
		減四錢五錢	
			減拾八錢八厘

抑、本品ノ如キハ我中國ニ四國ニ九州ニ沖繩諸島ニ産出スルモノ蓋シ歟シトセス而シテ未タ斯ク年々輸入ノ増進シテ遂ニ之ヲ退却セシムルニ足ラサルハ豈概歎ノ至リナラスヤ熟察セスニハアル可カラス

熟錢
十一年度輸入八貳千四百拾六万七千貳百三拾九斤ニシテ價ハ六拾六万七千九百圓ナリ十二年ハ三千六百五拾貳万九千九百九拾七斤ニシテ

價ハ九拾壹万貳千九百五拾壹圓ナリ之ヲ十一年ニ比スレハ千貳百三拾五万四千五拾八斤價貳拾四万五千五拾壹圓ヲ増加ス又本年度ハ三千九百八拾九万六千三百八拾八斤ニシテ價ハ百四万六千三百貳拾貳圓ナリ之ヲ前年度ニ比スレハ三百三拾七万五千九拾壹斤價拾三万三千三百七拾壹圓ヲ増加セリ夫レ錢ハ内國於テ産出スルモノ歟ナカラスト雖モ凡テ輸入ノ錢ハ板或ハ棒ニ形ナラ具ヘ之ヲ我諸製造ニ用ユルニ甚タ便利ニシテ且冗費ヲ省キ就中錢塊ノ如キハ其質緻密ナレ却テ溶解ニ易ク鍋釜鑄造ニ至適シ之ヲ内國産錢ヲ以テ製造スルモノニ比スレハ賣買ノ價直大ニ低廉ナリ

故ヲ以テ年々輸入ヲ増進スルニ至シリ
石炭油

十一年ノ輸入ハ八千五百三十六万七千八百七拾貳斤ニシテ價ハ貳百五拾四万七千六百九拾五圓十リ十二年ハ八千七百貳拾三万三千六百十リ之レヲ十一年ニ比スレハ數量ニ於テ百八拾六万五千七百八拾五斤ヲ増加シ價ハ七拾三万七千四百四拾九圓ヲ減額セリ又本年度ハ五百三拾四万九千貳百貳拾三斤ニシテ價ハ五拾九万四千四百四拾三圓十リ之レヲ前年度ニ比スレハ八千八百八拾八万四千四百三拾四斤價ハ百貳拾壹万九千八百三圓ヲ減殺ス夫レ如斯本年度

ニ於テ著シキ減少ヲ來タセシ原由ヲ畧説スレハ近來内外商人漸ク本邦於テ該品ノ必需缺ク可ラサルヲ視察シ十一年度ニ無比ノ巨額ヲ輸入シ價直ノ騰貴ヲ待テ之ヲ販賣セント欲セシニ料ヲサリキ十二年ニ於テモ亦非常ノ輸入ヲ要シ加之産出地米國ノ元價降低セルヲ以テ忽チ内地ノ市價ニ影響ヲ及ホシ前途ノ目的齟齬セシヨリ遂ニ昨年度ニ於テ盡ク發賣スルヲ得ス尚貯ヘテ本年ニ至リ稍ク開倉セルニ由ルナラン

茲ニ豫算高ト現収入高トノ増減ヲ比較對照スル左表ノ如シ

十一	豫算高百九拾三万三千七百三拾九圓
年	現収入高貳百三拾五万六千六百三拾四圓六拾壹錢
度	収入増四拾壹万七千八百九拾五圓六拾壹錢
十二	豫算高貳百拾八万三千三百拾圓
年	現収入高貳百六拾九万九千貳百四圓五拾七錢五厘
度	収入増五拾万九千八百九拾四圓五拾七錢五厘
十三	豫算高貳百五拾六万九千四百六拾貳圓
年	現収入高貳百六拾貳万四千七百七拾五圓四拾四錢
度	収入増五万四千七百七拾三圓四拾四錢

内譯

横濱	神戶	大阪	長崎	崎函	館新	湯外	通計
----	----	----	----	----	----	----	----

豫算高	一七八七六〇〇〇	六〇〇〇〇〇〇	三五〇〇〇〇〇	二二〇〇〇〇〇	二五五〇〇〇〇	九九三〇〇〇	五〇〇〇	二五六四六〇〇
	一九〇四九五五〇	五一九七九七五	五九四〇〇〇	一一二二八三五	三五〇三三九四	二六八三〇〇	一〇〇〇〇	二四四一七五〇
現収入高	一九〇四九五五〇	五一九七九七五	五九四〇〇〇	一一二二八三五	三五〇三三九四	二六八三〇〇	一〇〇〇〇	二四四一七五〇
収入	増	二六九七二五〇		一六九四〇〇〇		九五〇三三九四	五〇〇〇	五四七三〇〇
	減		八〇三〇〇〇〇		七六二二五		七四六六	

本年度現収入ノ豫算額ニ超過セルコト若干圓ナリシハ各港於テ輸出入税及諸収入ノ諸科目ニ由テ収入シ來ルモノト雖モ概テ輸出税及諸収入ヨリ此増額ヲ生セシナリ

本年度ノ現収額ハ豫算額ヨリ零刻貳分壹厘余ノ超過ナリ

金銀出入

本年度間ニ於ル輸出入金銀貨幣及地金等ヲ舉ルニ其價格輸出ハ八百七拾三万六千五百七拾



八圓ニシテ輸入八百四拾六万六千九百五拾七圓ナリ輸出ノ輸入ヨリ超過スル七百貳拾六万九千六百貳拾壹圓ナリ之ヲ前年ニ照比スルニ十二年度ノ輸出價格ハ千四百拾六万六千三拾六圓ニシテ輸入ハ五百六万八千九百貳拾八圓ナリ之ヲ本年度ト比算スルニ本年ノ輸出價格前年ヨリ減殺スル五百四拾貳万九千四百五拾八圓輸入ハ三百六拾万九千九百七拾壹圓ヲ増加セリ

右本年度間金銀輸出ノ超過七百貳拾六万九千六百貳拾壹圓此内ニ於テ輸入品元價ノ超過即チ百四拾九万三千貳百八拾六圓ヲ除去ス剩ス所五百七拾七万六千三百三拾五圓ナリ是本年

度間ノ概算ニ係ル輸入品價ノ外ニ於テ旁出スル所ノ金額ナリ之ヲ前年度間旁出スル所ノ金額ト比算スルハ五百拾三万貳千三百七拾六圓ヲ増加セリ
茲ニ本年度中輸出入物品最要品元價ノ多寡ヲ示サシ為メ之ヲ圓經三百六十度ニ配布シ以テ其割合ヲ算出スル左ノ如シ

生糸	度	一四七二〇二
熨斗糸		八五八一
屑糸		一一五八四
蚕卵紙		一一八六四
茶		一〇〇七二三

度
省

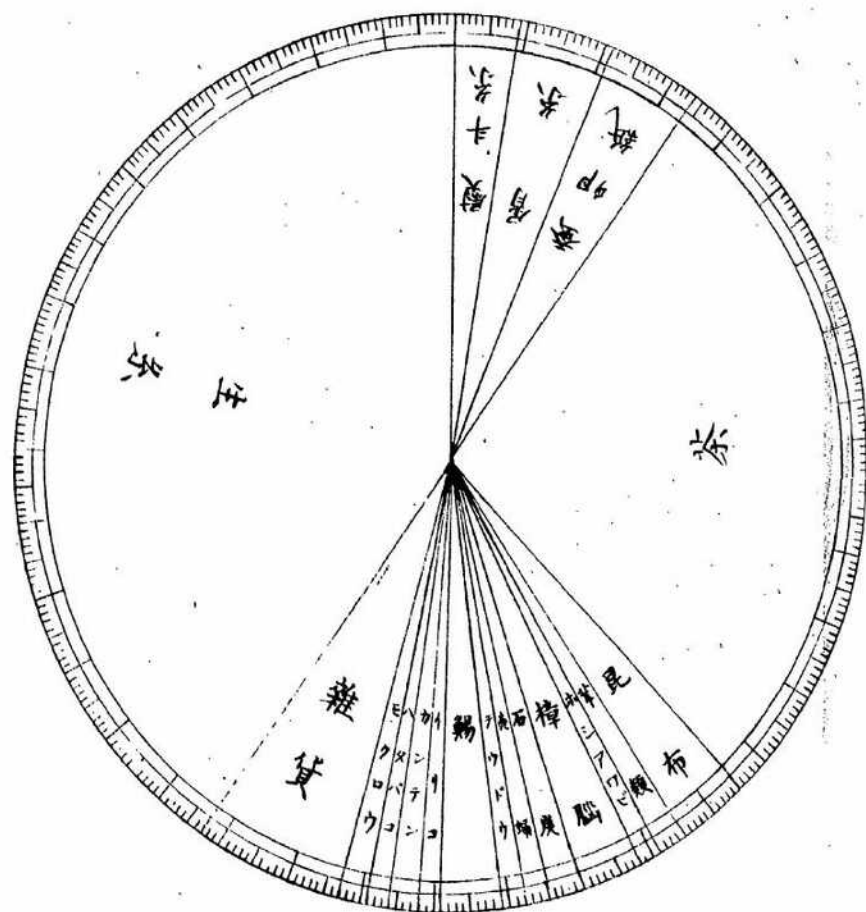
昆布類	一〇一八三
茸類	四三三八
乾鮑	三二七五
樟腦	七九〇七
石炭	五四九七
壳蛹	三四四三
丁銅	二七七四
錫	七六五二
煎海鼠	二九三九
寒天	四三九四
葉烟草	二八四五
水蠟	三五〇九
雜貨	二〇一八〇

輸入

木綿糸	七八六五五
金巾類	三七四二七
縮緬吳呂	三六六四七
綿天鷲絨	七九三〇
寒冷紗	三〇七一
綿縞子	五七二三
更紗	五七九三
フランケツト	三六五一
砂糖類	四一六八七
白鉄	一一二一四
熟鐵	一一二一四
石炭油	七三〇六

度

圈中壹度ハ
七七〇三七四余ニ當ル

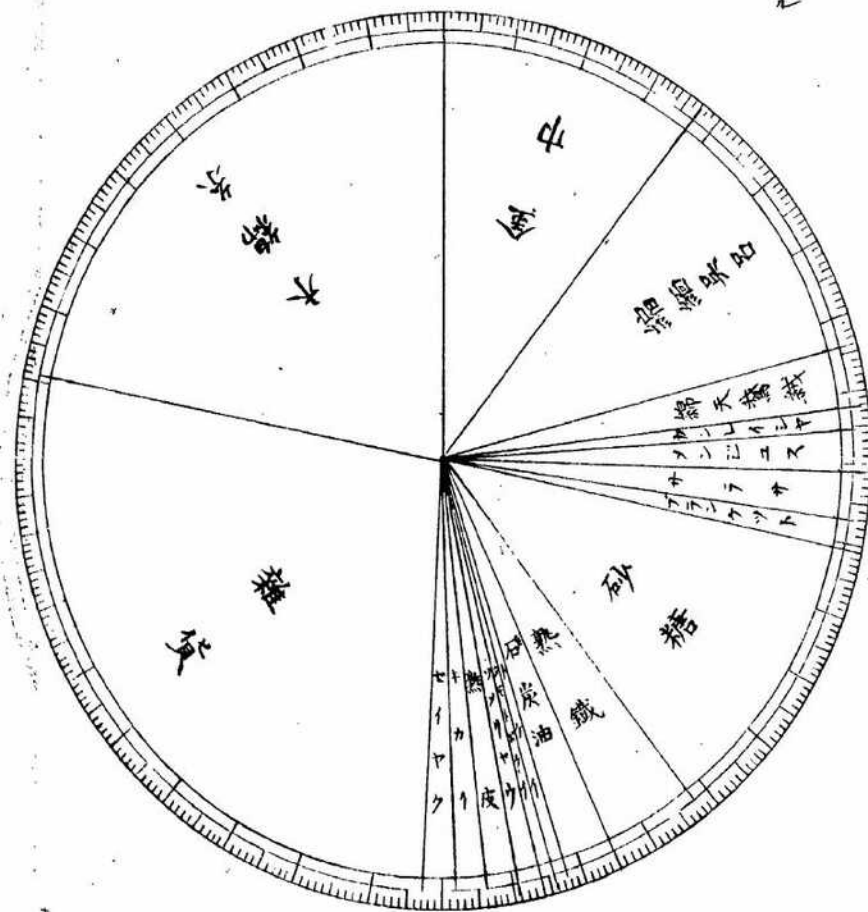


時計
杖時計
染料
熟皮
機械類
製藥
雜貨

九七	五	四	四	三	二	二
七九	三	〇	六	一	三	三
七一	九	九	三	二	八	八
	二	〇	九	〇	一	三

九
七
一

圖中壹度ハ
八五九二六四三當ル



自明治十三年七月一日
至同十四年六月廿日 關稅局經費一覽表

區分	員	
	金	員
勅任	四二〇〇	〇〇〇
奏任	一三〇〇	〇〇〇
判任	八七三一	〇〇〇
等外	三三八	〇〇〇
御用	一四一	〇〇〇
旅費	一〇二五	七〇〇
勸業	七三二	五〇〇
旅費	一四一	一三五
勸業	七二	八五五
諸費	一六一三	一五六
諸費	一五二	七九三
諸費	一五	〇〇〇
諸費	一三三	三六七
諸費	四〇	〇〇〇
電報	一九七	三六九
郵便	六三	七三二
印刷	六九	五四〇
諸費	二五	一〇
合計	金貳萬三千三百三十六圓三拾九錢八厘	假拂
外	金四百七拾壹圓八拾錢	假拂
外	金貳百七拾八圓七拾六錢九厘	假替

明治十二年度關稅局經費繰替金支拂高一覽表

區分		員	圓	錢
諸	雇給	二五	七七	九
諸	賄料	六一	七五	
勉勵	賞與	三四	一〇〇〇	
旅	費	一八	二三〇〇	
刊行	費	二三	五〇二四	
運漕	費	八二	九六五	
郵便	電信料	一〇	六四〇	
通計		八八	三八八三	

第七回各港稅關年報

橫濱稅關

本年六月三十日本關官吏、奏任、判任、監吏、等外、監吏補、鑑定役見習、其他御用掛、御雇、并御雇附屬、御雇外國人ヲ合テ貳百貳拾六名之ヲ七課一掛ニ分派シ其事務ヲ管掌セシム

稅關長 大藏權大書記官本野盛亨
 稅關副長 大藏權少書記官葦原清風

法律顧問 御雇英國人 フレイテック、ラウタ

課名	課長	屬官	監吏	等外	御用掛	御雇附屬	御雇外國人
鑑定課	一等屬富田淳久	十三人			一人	一人	一人
檢査課	八等出仕高橋端七	二十二人	一人		一人	三人	一人
掛						五人	一人

御雇外國人

收稅課	二等屬菊名啟之	五人	一人	一人	一人	一人	一人
倉庫課	二等屬菊名啟之	二十二人	一人	一人	一人	一人	一人
文書課	一等屬兼 一等監吏 渡邊至	六人	二人	二人	二人	三人	五人
諸務課	二等屬兼 一等監吏 渡邊至	十四人	二人	二人	二人	三人	五人
監視課	全	六人	九十二人	二人	二人	二人	二人
西洋形 内國船 掛		三人					
計合 一七掛		七十六人	六人	五人	九十二人	四人	十六人

檢査課中 = 目錄仕入書、翻譯、改品ノ四科及ニ輸
出入改品立合掛、收稅課中 = 稅簿科、倉庫課中 =
借庫、仮借庫、上屋、記號、檢印ノ五科、文書課中 = 翻
譯科、諸務課中 = 統計、檢印、出納、簿記、用度、營繕ノ
六科ヲ置ク

十三年六月三十日ハ職員貳百貳拾八名ナリシ

ニ兼テ貴額節減ノ御主意ヲ奉シ務テ省畧ヲ旨
トシ縱令ハ一等屬壹名ノ缺員ニ十等屬壹名ヲ
充テニ等ノ故ヲ以貴途ハ實ニ減省スルモ人員
ハ僅ニ貳名ヲ減ス

神戸稅關

奏任、判任、監吏、鑑定役、等外、監吏補、鑑定役見習、其
他御用掛、御雇、御雇外國人ヲ合テ百壹名之ヲ七
課十二掛ニ分派ス

稅關長 大藏少書記官 高橋新吉

課名	長	屬	官	監	吏	等 監吏 鑑定役見習	外 御用掛	御雇外國人
檢査課	四等屬五島貞真	二人						
目錄掛		一人						一人
翻譯掛		一人						

大藏省

主簿掛	用度營繕掛	出納掛	捺印掛	諸務課	編集掛	職員掛	文書課	上屋掛	倉庫課	稅簿掛	收稅課	改品掛
				一等爲小林勝			心得 五等爲奥井清風		四等爲五島貞真		四等爲高垣保私	
一	一	一		一	一	一	二	五	一	二	五	五
人	人	人		人	人	人	人	人	人	人	人	人
一	一			一	一		一	二				一
人	人			人	人		人	人				人

統計掛	鑑定課	監視課	合計	檢査課	簿掛倉庫課	二掛諸務課	十二掛	十三年六月三十日	名等外	ス等	大阪稅關
		心得 五等爲野島昌艾	二十七人	二	二	二	置	職員百三名	ヲ減	ヲ減	
一	一		四	三	三	三		十	ニ	ス	
人	人	人	三十九人	三	三	三		十	ニ	ス	
			六十九人	三	三	三		十	ニ	ス	
			四十九人	三	三	三		十	ニ	ス	
			三十九人	三	三	三		十	ニ	ス	
			十九人	三	三	三		十	ニ	ス	
			九人	三	三	三		十	ニ	ス	
			一人	三	三	三		十	ニ	ス	

簿掛倉庫課中ニ上屋掛文書課中ニ職員、編集ノ
 二掛諸務課中ニ捺印、統計、出納、主簿、用度、營繕ノ
 十二掛ヲ置ク
 十三年六月三十日職員百三名ナリニ判任六
 名等外三名ヲ減シ御用掛五名監吏補貳名ヲ増
 ス等ヲ以テ貳名ヲ減ス
 大阪稅關
 判任、監吏、鑑定役見習、監吏補、其他御用掛ヲ合テ

貳拾三名之ヲ六課ニ分派ス

稅關長大藏少書記官高橋新吉

課名	課長	屬官	監吏	計
檢査課	心得六等屬白木勝三	一人	一人	二人
鑑定課	心得六等屬白木勝三	一人	一人	二人
倉庫課	心得六等屬白木勝三	一人	一人	二人
收稅課	全	二人	一人	三人
諸務課	全	二人	一人	三人
監視課	心得七等屬兼七等監吏 前野直久	一人	一人	二人
計	八	八	八	十六

十三年六月三十日卜職員増減ナシ

長崎稅關 奏任判任監吏等外監吏補其他御用掛御雇ヲ合

ヲ九拾七名之ヲ七課ニ出張所ニ分派ス

稅關長大藏權少書記官河野通猷

課名	課長	屬官	監吏	御用掛	御雇	計
檢査課	四等屬中山武信	六人	一人	一人	一人	八人
收稅課	四等屬内田光教	一人	一人	一人	一人	四人
倉庫課	二等屬白石秀明	五人	一人	一人	一人	八人
文書課	六等屬小林寛	一人	一人	一人	一人	四人
庶務課	五等屬上村清直	六人	一人	一人	一人	八人
監視課	六等監吏岩城盛寧	三人	一人	一人	一人	五人
鑑定課	鑑定役竹下佳隆	一人	一人	一人	一人	四人
出張所		一人	一人	一人	一人	四人
計	二十三	二十三	二十三	二十三	二十三	五十五

六歳

檢査課中ニ改品科、庶務課中ニ出納、營繕、用度、檢
 印、統計ノ五科及ニ簿記掛新ニ鑑定課ヲ置ク
 十三年六月三十日ハ職員九拾四名ナリシニ監
 視課中御用掛ヲ廢シ監吏補ヲ増シ收稅庶務ノ
 兩課ニ御雇貳名ヲ置ク等ヲ以テ三名ヲ増ス
 函館稅關
 奏任、判任、監吏等外、監吏補ヲ合テ三拾九名之ヲ
 六課ニ分派ス

稅關長 大藏權少書記官 平川武柄

課名	課長	屬官	監吏	等外	監吏補
檢査課	三等屬佐山都英	四人		一人	
收稅課	五等屬鶴殿基照	三人			
倉庫課	三等屬佐山都英	四人			三人

課名	課長	屬官	監吏	等外	監吏補
文書課	五等屬鶴殿基照	二人			
庶務課	全	外五人		二人	
盜視課	六等屬窪田忠愛		一人		二十一人
計六課	十	三人	一人	三人	二十一人

檢査課中ニ目錄、翻譯、改品ノ三科收稅課中ニ稅
 簿科、倉庫課中ニ守庫、上屋ノ二科、庶務課中ニ捺
 印、出納、統計、用度ノ四科及ニ内國船掛ヲ置ク
 十三年六月三十日職員四拾四名ナリシニ官吏
 其他監吏補ノ轉免アルモ事務ノ都合ニヨリ其
 缺員ヲ補ハサルヲ以テ五名ヲ減ス
 新瀉稅關
 判任等外、御雇ヲ合テ三拾貳名之ヲ五課三掛ニ
 分派ス

明治十三年七月一日ヨリ
明治十四年五月三十一日迄
各税關經費表

區分	港名	俸給		雜給		給							
		官負月給	監人全補月給	旅費	滿年賜金	交際手當	被服料	備給	諸手數料	諸手當	勸勵賜金	賞與	追賞吊祭
横濱	四茅	二三五九八五〇	一二〇四五四五	九六九二二〇	五七四〇〇〇	五五〇〇〇〇	二四七七三三九	六八五九八三二	二五一六二三二		六二八六八六	一〇一〇〇〇	
		一一、四五四二五〇	八〇、九〇六三〇	一一二〇、九三〇	一〇、八四〇〇〇	三六六六六三	一七七七〇五〇	二、八七六五三三	一、三三三六〇八	八六〇〇	一七六六〇〇		
大田	四茅	八、〇三三三三〇	六、五九三三七	七、四六九〇〇	一、〇四四〇〇〇	三六〇〇〇〇	一、三三九七九四	二、四一六九〇一	二七二九八六		二五三一七〇	六〇〇〇〇	
		四、二六〇五〇〇	二、五九七七〇	六、四八六〇〇	一、五九五〇〇	三〇〇〇〇〇	一、一九五六七五	一、三九七七七四	二〇六六四		八七九九〇		
長崎	四茅	一、四七五〇〇〇	四八、八一一七五	五九九〇〇〇	四八六〇〇〇	四八六〇〇〇	二、四三九六二	二、二五四六九	一九五七二		八四五六五		
		四八、八一一七五	二九、三〇六一〇	一〇二〇、五〇〇	三、七五五五五	三、〇四一五〇	一、七九六六三	七、〇二七二六	一、五、八〇五八八	四、三三九〇	一一五八五七	一一〇一〇〇〇	七、八〇〇〇〇
函館	四茅	二、七九二〇〇	二、七九二〇〇	二、七九二〇〇	二、七九二〇〇	二、七九二〇〇	二、七九二〇〇	二、七九二〇〇	二、七九二〇〇				
		二、七九二〇〇	二、七九二〇〇	二、七九二〇〇	二、七九二〇〇	二、七九二〇〇	二、七九二〇〇	二、七九二〇〇	二、七九二〇〇	二、七九二〇〇			
新館	四茅	二、七九二〇〇	二、七九二〇〇	二、七九二〇〇	二、七九二〇〇	二、七九二〇〇	二、七九二〇〇	二、七九二〇〇	二、七九二〇〇				
		二、七九二〇〇	二、七九二〇〇	二、七九二〇〇	二、七九二〇〇	二、七九二〇〇	二、七九二〇〇	二、七九二〇〇	二、七九二〇〇	二、七九二〇〇			
新潟	四茅	二、七九二〇〇	二、七九二〇〇	二、七九二〇〇	二、七九二〇〇	二、七九二〇〇	二、七九二〇〇	二、七九二〇〇	二、七九二〇〇				
		二、七九二〇〇	二、七九二〇〇	二、七九二〇〇	二、七九二〇〇	二、七九二〇〇	二、七九二〇〇	二、七九二〇〇	二、七九二〇〇	二、七九二〇〇			
通計	四茅	二、七九二〇〇	二、七九二〇〇	二、七九二〇〇	二、七九二〇〇	二、七九二〇〇	二、七九二〇〇	二、七九二〇〇	二、七九二〇〇				
		二、七九二〇〇	二、七九二〇〇	二、七九二〇〇	二、七九二〇〇	二、七九二〇〇	二、七九二〇〇	二、七九二〇〇	二、七九二〇〇	二、七九二〇〇			

九
新
通
計

備品	消耗品	印刷費	郵便電信料	賄費	脩船費	運搬費	接對費	雜費	各所新築修繕費	船製造費	船舶償費	營繕費	雜件	外國諸賞		合計
														給與	給與	
一〇四一三・六	三六四六四・三	五六八七六・三	六〇八九・〇	一三二八四九五	二二八三五・〇	六一五七二・五	二二〇五六四	一〇〇七八三五	二〇二二二・一	七二二九九・〇	三〇〇〇			一九七七一・〇〇	五〇〇〇	八二、八四四・六六
二八六九三・七	一七四九四・二	四〇六四五	一六六五六・〇	七七七五五・〇	八四七二九	一、一五〇六六	二四三九九七	八〇一〇二	一〇三四九六九					二、五三〇〇〇	二〇〇〇〇	三九、二六一・六一
二六九五三	九五八六五・三	一一五六・〇	九九七〇・〇	九一五一・〇	一一九三八二	三八九二・〇		七九七九九	二六九九〇二	五五四五						二五、一九二・五五九
一六〇五九	九〇七二七九	四〇七五五	五三三八・〇	三五八二五	八八三八	七〇七六	三九三・五	七三二四一	二四六二六							一三、三五九・八一
一五七七五	七六六四四・二	五二〇七〇	四七五七五	二三一八七・〇	一六七〇三八	一六〇三〇	一八二八八	八九六	七〇八八四七							八、二四四・五五九
一八七三九九〇	八、〇二八〇八八	一、一八三・六二	四二七九・五	三、六一一・三四	六八七七二七	一、八三八・四二七	五三二・一三四	一、二四一・八五三	四三三・三三四	一、二七七・三五	三、〇〇〇			二、三〇一・二〇〇	二、〇五〇・〇〇	一六、八九〇・三二八
																二六、一二〇・七二八
																二、三九六・三四
																七、一三三・三八九
																三五〇、五四四・一
																二、九七五・三九
																一一一〇、四四五
																二、六一二・〇七二

神阪長函新五稅關經費八十三年度五月分勘定帳該年度末月則六月中各關ヨリ本局へ送達ス因テ五月三十一日迄ノ實費ヲ以テ打切正拂假拂ノ區域ヲ定ム新關經費中返納ニ係ル金七百五拾四圓八同上年度六月中本局へ送達ス因テ經費額ヨリ之ヲ扣除ス

明治十三年六月中各税關經費一覽表

區分	港名	俸給			與給			廳中								
		官首月給	監吏全補月給	鑑定後全見習月給	等外月給	雇月給	交際手當	備給	滿年賜金	賄料	被服料	追賞吊祭	需用費	刊行費	損料及廣告料	運送費
橫濱	田	二〇四五〇〇	一、一四二、二〇〇	六、一〇〇	六、六〇〇	一、一九〇〇〇	五〇〇〇〇	一、七四三、八七四		二、四六二〇〇	七、一四七、八四		二、八二八、六三三	九、七二五〇	一、三六五	一、一六九、四
	大	一、〇四八、五〇〇	七、四三三、九六六	一、三八九、〇〇	七、六〇〇	五、一〇〇〇	三、三三三、七	一、一、二〇、八六五	九、九〇〇	七、〇七七、〇	一、〇五、六七五		二、四五五、九	一、三一六、三三		五、二一四、一
長崎	田	六三五〇〇	五、九一七、八三	四、五〇〇	一、八〇〇	四、九〇〇	三、〇〇〇	四、四三二、二〇五	一、二〇〇	八、二二九、〇	一、〇九、六〇		二、八四一、一	二、三六二、四		六、三六六
	大	四、〇六〇〇	二、五〇〇、〇〇		四、〇〇〇	一、三、〇〇〇	二、五〇〇	一、九五〇、一五	三、三、〇〇〇	三、三、五九〇	九、八八、二七		三、一九七、五	三、七五〇	四、九	四、九五、一
新潟	田	一、八〇〇〇			五、二〇〇			二、六八三、六四		二、二六六、〇	二、〇三、五〇		五、一五八、八八			二、五七八八
	大	四、三一四、九〇〇	二、七二七、九五〇	二、四四、〇〇	二、五二〇〇	三、三二、〇〇	一、五八、三三七	三、七七、一三三	二、五二、〇〇	四、五五、五〇	九、九〇、五九六		一、〇四六、五六	二、五六、二五七	一、八五五	二、五〇、六七〇
計																

合	内國旅費	諸費	外國人	管營費			電信郵便料
				修繕費	新營費	雜費	
計	料	宿	旅	雇月給	接	待	費
一〇、二一四、九〇〇	二六、四五〇	三〇、〇〇〇	一五、五四八、〇〇〇	四三、五八〇、〇〇〇	四七、九〇〇、〇〇〇	九六、九三三、〇〇〇	七、九一〇
四、五〇四、三九九	一六、八七一〇	二〇、〇〇〇	三三、〇〇〇	一一、二〇五、三〇〇	一五、五八一〇	七〇、〇〇〇	一一、六〇五
二、三三三、三七二	一七、八六〇			九、九七〇	四〇、八七八		一〇、二六五
二、一六四、四八七	一六、六五〇			一一、二一八、六〇〇	六二、一八三、八〇〇	七八、八二四	四、九六〇
一、九九九、六〇四	一〇、九二〇			六八、五〇五、四〇〇			七、二五五
二、一、二四一、八〇八	六、四九四、〇〇〇	二〇、〇〇〇	二、七八四、八〇〇	一三、五五〇、六〇〇	一、一〇〇、〇〇〇	一、〇〇四、五七六	四、二五五

閣下ノ命ヲ奉シ明治十三年七月一日ヨリ全十四年六月三十日ニ至ル會計一周年間當局ニ於テ掌管セシ事務ノ成績ニ就キ其實況ヲ詳録シ謹テ高覽ニ供シ候也

明治十四年十二月一日 國債局長 郷純造



大藏卿松方正義殿